

文化表现学科

2024年4月1日 更新

科目名	文学に親しむ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナバリンクコード	CUL3111		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	日本の文学作品や作家について、古代から近代まで順を追って取り上げ、文学の魅力と意義について実感する。実際に丁寧に読むことで、それぞれの作品のもつ価値と時代や社会との関わりについて詳しく解説する。							
到達目標	1. 文学の魅力と価値について理解している。 2. 自身から読みたいと思う文学作品と出会うことができる。 3. 文学を通じて社会と歴史についての考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1. 2)							
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～文学とどう関わるのか	予習	これまでの読書体験を書き出す			
				復習	印象に残った作品を振り返る			
	第2回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされたのか	予習	古事記の成立、時代背景について調べる			
				復習	授業で学んだ神話についてノートにまとめる			
	第3回	内容	古事記神話～神話の影響	予習	第2回で指示した課題について調べる			
				復習	登場した神々についてノートにまとめる			
	第4回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	万葉集の特色について調べる			
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる			
	第5回	内容	万葉集～様々なうたの魅力	予習	歌が当初どう表記されていたのか調べる			
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる			
	第6回	内容	竹取物語～かぐや姫の真実	予習	竹取物語について調べる			
				復習	物語の特色についてノートにまとめる			
	第7回	内容	竹取物語の本当の面白さ	予習	全体のあらすじを調べる			
				復習	結末の意味することをよく考えてまとめる			
	第8回	内容	源氏物語～なぜ名作と評価されるのか	予習	源氏物語の特色、内容、作者について調べる			
				復習	物語の展開をノートにまとめる			
	第9回	内容	源氏物語～作者が伝えなかったこと	予習	第3部「宇治十帖」について調べる			
				復習	作者が伝えようとしたことに思いを馳せる			
	第10回	内容	宇治拾遺物語～お話し「瘤取りじいさん」の原像	予習	自分が知っている昔話を書き出す			
				復習	「瘤取りじいさん」の原話をノートにまとめる			
	第11回	内容	宇治拾遺物語～お話し「藁しべ長者」の原像	予習	昔ばなし「藁しべ長者」について調べる			
				復習	「藁しべ長者」の原話をノートにまとめる			
	第12回	内容	百人一首～どのように作られたか、うたの歴史の中で	予習	知っている「百人一首」の和歌を書き出す。			
				復習	成立と学んだ歌の背景を整理してまとめる			
	第13回	内容	つれづれ草～兼好法師の人生観と人間性	予習	つれづれ草について調べる			
				復習	授業で読んだ章段をノートにまとめる			
	第14回	内容	閑吟集と柳多留～流行歌謡と江戸川柳	予習	「小歌」と「川柳」について調べる			
				復習	授業で学んだ小歌と川柳をノートにまとめる			
	第15回	内容	宮澤賢治～何を伝えようとしたのか	予習	宮澤賢治の経歴と作品について調べる			
				復習	賢治は詩や童話で何を伝えなかったのか考える			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法：筆記試験(%)、レポート・課題(70%)、作品・発表(%)、実技(%)、授業態度【自主性】(30%)							
教科書	適宜資料を配布。							
参考文献	必要に応じて指示。							
補足事項								

科目名	情報と社会		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	GEE3111		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	私たちが生きているこの社会に渦巻く情報。大学生として、社会人として適切な判断、合理的な推論、自発的な発信等ができるための力を育成することを目指します。情報はどのように発生し、どのように伝わっていくのかを、具体的な社会問題を例にして解説していきます。メディアと情報の観点から、民主主義における法理論的側面を踏まえて考察する授業です。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実の社会問題を法的根拠に基づいて合理的な判断ができる力を身につけていく。 2. 社会問題を分析し、自分の意見を持つことができる。 3. その意見を発表、表明できるようになる。 							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、あなたが関心ネオ持っている社会問題は？	予習	シラバスを読んでおく。	復習	授業内容を理解しておく。	
	第2回	内容	民主主義と表現の自由との関係は？	予習	表現の自由とは何かを調べておく。	復習	授業内容を自分なりに書き出してみる。	
	第3回	内容	取材と報道の自由	予習	報道の自由について調べておく。	復習	授業内容を箇条書きにしてみる。	
	第4回	内容	報道と人権侵害、ネット上の誹謗中傷	予習	誹謗中傷について調べ意見をまとめる。	復習	授業の内容を振り返っておく。	
	第5回	内容	子どもをめぐる問題 いじめ、虐待、貧困	予習	子どもの権利について調べてみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第6回	内容	コロナ禍が阻んだSDGsとは？	予習	興味のあるSDGsのゴールは？	復習	授業の内容を振り返っておく。	
	第7回	内容	ジェンダーとは何か？	予習	ジェンダーとは何かを調べる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第8回	内容	ジェンダーから読み解く社会	予習	ジェンダーが社会におよぼす影響を考えておく。	復習	ジェンダーに関する授業2回分をまとめてみる。	
	第9回	内容	振り返りと小テスト	予習	学んできた内容を確認しておく。	復習	テストの確認。	
	第10回	内容	民法をめぐる問題とは？選択的夫婦別姓など	予習	民法をめぐる裁判を調べてみる。	復習	授業の内容をまとめる。	
	第11回	内容	世界の中の日本国憲法	予習	日本国憲法の条文を読んでみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第12回	内容	新聞を使って情報分析。自分の考えをまとめる。	予習	新聞からテーマを抽出しておく。	復習	他の学生のテーマを振り返ってみる。	
	第13回	内容	「労働する」を助ける労働法	予習	労働法とは何かを調べておく。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第14回	内容	政治と社会の担い手になる	予習	選挙について自分なりの意見をまとめてみる。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第15回	内容	まとめ、小テスト	予習	これまでのノートを確認しておく。	復習	授業を振り返って考えをまとめる。	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出した課題にコメントをつけて返却するほか、次回の授業で解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【積極的参加】（ 20 %）							
教科書	特になし。授業の前日にクラスルームにレジユメをアップするのでプリントアウトして持参する。							
参考文献	特になし							
補足事項	本授業は対面の良さを取り入れ、アクティブラーニングで活発に議論する。							

科目名	現代社会入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナバリンコード*	GEE3112	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	授業を通して、今まで常識的に知っている事柄が意外に違っていることや、知らないことを知ることの重要性を再確認していただけるような内容をお伝えしていきたいと思えます。本当にそうなのか! ? という視点でいろいろと考える練習をしてみてください。社会がより良くなっているにはどうしたらよいかということについて、積極的に考えていくための事柄も提供していきます。						
到達目標	1. オリンピックについて詳しく説明できる 2. 政治や選挙制度のあり方について、自分なりの見解を述べるができる 3. 戦争や女性について、自分なりの意見を詳しく述べるができる						
学位授与方針	文化表現学科 (1・3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項	予習	自分なりに社会的な問題を列挙しまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第2回	内容	オリンピックについて (1)	予習	発症や意味などについて調べてまとめておく	復習	理解したことをさらに調べまとめる
	第3回	内容	オリンピックについて (2)	予習	問題点やテロについて調べまとめておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	第4回	内容	日本の政治について考える	予習	政治について知っていることをまとめておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	第5回	内容	国会の仕組みと内閣について考える	予習	国会や内閣について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第6回	内容	選挙制度と政党について考える	予習	選挙制度や政党について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第7回	内容	世界の子どもたちについて知る：アフリカ・ロシア等	予習	アフリカやロシアについて詳しく調べておく	復習	理解したことをさらに調べまとめる
	第8回	内容	世界の子どもたちについて知る：アメリカ・ブラジル等	予習	アメリカやブラジルについて詳しく調べておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	第9回	内容	日本国憲法と基本的人権について考える	予習	日本国憲法について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第10回	内容	憲法改正問題について考える	予習	憲法改正について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第11回	内容	戦争について考える (1)	予習	第二次世界大戦について調べまとめておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	第12回	内容	戦争について考える (2)	予習	市街戦や内戦について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第13回	内容	原爆と原発について考える (1)	予習	原爆について詳しく調べてまとめておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	第14回	内容	原爆と原発について考える (2)	予習	原発の利点や問題点について調べまとめておく	復習	理解したことをまとめる
	第15回	内容	まとめ	予習	これまでに学んだことについてまとめておく	復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	数回にわたって小エッセイを課したりし、小テストを実施するなどして理解度を把握していきます。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：筆記試験 (50 %)、レポート・課題 (30 %)、授業態度【発言の頻度等】 (20 %)						
教科書	特に指定はしません。						
参考文献	授業中に必要に応じて適宜、紹介していきます。						
補足事項	ニュースを聞いたり新聞などに目を通し、主体的に気になることや興味のあることについて調べていってほしいと思えます。						

科目名	心理学入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3111	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	本講義では、発達を中心に心理学の領域全般を概観し、心理学の基礎的知識の習得と将来の社会生活や職場で活かせる基本的な心理学の考え方の育成を図ることを目的とする。						
到達目標	1. 心理学の基礎的知識を正確に習得している。 2. 心理学的に社会の事象を考えられる。 3. 学んだ知識を自己の社会生活に活かすことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2,3)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	講義の過程と内容を理解する。		
	第2回	内容	心理学とは何か	予習	心理学について調べる。		
				復習	心理学の概要を整理する。		
	第3回	内容	生理心理学	予習	生理心理学について調べる。		
				復習	特に脳と心の関係を整理する。		
	第4回	内容	人格心理学	予習	人格心理学について調べる。		
				復習	パーソナリティーの成り立ちを整理する。		
	第5回	内容	認知心理学	予習	認知心理学について調べる。		
				復習	心的過程を整理する。		
	第6回	内容	ディスカッション1(心の機能)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。		
				復習	新たに得た知見をまとめる。		
	第7回	内容	発達心理学①(親子関係)	予習	親子の絆を考える。		
				復習	親子関係の理論を整理・理解する。		
	第8回	内容	発達心理学②(ライフサイクル)	予習	発達心理学について調べる。		
				復習	発達段階と発達課題について整理する。		
第9回	内容	学習心理学	予習	学習心理学について調べる。			
			復習	学習の形態を整理する。			
第10回	内容	ディスカッション2(心の発達)	予習	ディスカッション2(心の発達)			
			復習	新たに得た知見をまとめる。			
第11回	内容	臨床心理学①(心の基礎理論)	予習	臨床心理学について調べる。			
			復習	臨床心理学の考え方を整理する。			
第12回	内容	臨床心理学②(心理療法の考え方とその過程)	予習	心理療法について調べる。			
			復習	各心理療法の特徴を整理する。			
第13回	内容	社会心理学	予習	社会心理学について調べる。			
			復習	代表的な社会心理学の考え方を整理する。			
第14回	内容	ディスカッション③(心の理解と対応)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。			
			復習	新たに得た知見をまとめる。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	講義の中で発表やレポートについての講評をおこなっていく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する 成績評価の方法：筆記試験(40%)、レポート・課題(60%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	講義の中で必要に応じて適宜紹介する						
補足事項	講義とディスカッションを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	コミュニケーション論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナバリンクコード	CAE3111		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	私たちは一人では生きていけません。社会生活はコミュニケーションで成り立っています。 日常生活の中での情報は、他人を通して受容し、適切に判断し、合理的な推論をしたうえでアウトプットする人が多いと思います。そこで必要となるのは、相手の意図を読み取る力と自分の考えを伝える力です。その力が構築できるように授業を進めていきます。							
到達目標	1. 受容した情報はどのようなことを意味するのか。それを他者に説明できるようにする。 2. メディアから得た情報の真偽はどうか。それを判断できる力を身につける。 3. ネット社会の中で大学生として、社会人としてどう対処すべきかを理解する。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス コミュニケーションとは何か？	予習	シラバスに目を通しておく。	復習	コミュニケーションとは何だったのかを考える。	
	第2回	内容	自己表現のコミュニケーション	予習	自己表現とはなにかについて考えておく。	復習	授業の内容を振り返る。	
	第3回	内容	人間はどのように情報を受け取るか	予習	新聞を読んでおこう。	復習	どのように情報を受け取っていたか。	
	第4回	内容	メディアのコミュニケーション能力、説得のコミュニケーション	予習	ニュースを調べてみる。	復習	メディアについて改めて考えてみる。	
	第5回	内容	メディアは社会とどうつながっているか	予習	新聞を読む。	復習	メディアと社会についてまとめてみる。	
	第6回	内容	言葉とイメージ	予習	新聞を読む。	復習	授業を振り返る。	
	第7回	内容	伝える力とスマホ脳	予習	伝える力について考える。	復習	スマホの使い方について考える。	
	第8回	内容	振り返りと小テスト	予習	レジュメに目を通す。	復習	テストを振り返る。	
	第9回	内容	うわさのコミュニケーション	予習	うわさとは何なのだろうかを考える。	復習	授業を振り返る。	
	第10回	内容	家族のコミュニケーション、組織のコミュニケーション	予習	自分の家族を考えてみる。	復習	授業を振り返る。	
	第11回	内容	ストレスコミュニケーション	予習	ストレスを感じることは何かを考える。	復習	レジュメを読んで振り返る。	
	第12回	内容	ジェンダーコミュニケーション	予習	ジェンダーを考えておく。	復習	授業を振り返る。	
	第13回	内容	異文化コミュニケーション	予習	身近にある異文化コミュニケーションの例を考える。	復習	授業を振り返る。	
	第14回	内容	アイデンティティとは何か	予習	新聞を読む。	復習	アイデンティティを考える。	
	第15回	内容	まとめと小テスト	予習	レジュメを読んでおく。	復習	これまでの授業全体を振り返る。	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出課題に対し、コメントをつけて返却するほか、次回授業で解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ 20 %）、授業態度【 積極的参加 】（20 %）							
教科書	特になし。適宜参考資料を配布する。							
参考文献	特になし。							
補足事項	前日にレジュメをクラスルームにアップするのでプリントアウトし授業に持参する。書く力、話す力を日頃から意識する。 アクティブラーニングの実施。							

科目名	データサイエンス		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
カンパリコード	INS3121		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授業の内容	本授業では、教科書を通してデータサイエンスの基本を学習するとともに、パソコンの表計算ソフトウェアを使用して実データ（学外事業者が公開提供している集計データなど）の数値処理業務の一端を模擬的に体験し、情報リテラシー（情報倫理や情報セキュリティなどを前提とする、業務上の判断能力）の在りかたを具体的に考察する。 この授業は各年度一年生（学科不問）向けの選択科目として開講されるが、在学生（二年生以上／学科不問）も履修することができる。							
到達目標	1. テキスト読解やデータ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解している。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解している。 3. 今後の社会に必要なとされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス：ようこそデータサイエンスへ	予習	シラバスを読み、授業全体の流れを把握する。			
				復習	教科書第1章の内容を再度精読して理解し、授業全体の学習に向けた心構えを行う。			
	第2回	内容	AIにサポートされる社会	予習	教科書第2章を通読する。			
				復習	教科書第2章の内容を再度精読し理解する。			
	第3回	内容	情報をめぐる世の中の潮流	予習	教科書第3章を通読する。			
				復習	教科書第3章の内容を再度精読し理解する。			
	第4回	内容	広がるデータ活用の幅	予習	教科書第4章を通読する。			
				復習	教科書第4章の内容を再度精読し理解する。			
	第5回	内容	AI開発の歴史といま	予習	教科書第5章を通読する。			
				復習	教科書第5章の内容を再度精読し理解する。			
	第6回	内容	情報倫理とセキュリティ	予習	教科書第6章を通読する。			
				復習	教科書第6章の内容を再度精読し理解する。			
	第7回	内容	データの種類とその活用	予習	教科書第7章を通読する。			
				復習	教科書第7章の内容を再度精読し理解する。			
	第8回	内容	データリテラシー (パソコンを用いた数値処理演習①)	予習	教科書第8章を通読する。			
				復習	教科書第8章の内容を再度精読し理解する。			
第9回	内容	データの収集と視覚化 (パソコンを用いた数値処理演習②)	予習	教科書第9章を通読する。				
			復習	教科書第9章の内容を再度精読し理解する。				
第10回	内容	データの解析方法 (パソコンを用いた数値処理演習③)	予習	教科書第10章を通読する。				
			復習	教科書第10章の内容を再度精読し理解する。				
第11回	内容	情報の利活用と方法	予習	教科書第11章を通読する。				
			復習	教科書第11章の内容を再度精読し理解する。				
第12回	内容	AIによる生活のアップデート	予習	教科書第12章を通読する。				
			復習	教科書第12章の内容を再度精読し理解する。				
第13回	内容	AIによる社会のアップデート	予習	教科書第13章を通読する。				
			復習	教科書第13章の内容を再度精読し理解する。				
第14回	内容	秩序あるデータの重要性	予習	教科書第14章を通読する。				
			復習	教科書第14章の内容を再度精読し理解する。				
第15回	内容	全体のまとめ：これからの学びに向けて	予習	教科書第15章を通読する。				
			復習	教科書第15章の内容を再度精読して理解し、情報リテラシーに関する今後の学びに備える。				
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業開講期間中、授業内容に関するリアクションペーパーを作成し提出する。 授業開講期間中、実在の集計データに対する統計処理を行い、その処理結果から得られる解釈・考察の内容をレポート化する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (75%)、授業態度【積極的参加】(25%)							
教科書	『大学基礎 データサイエンス』（伊藤 大河ほか、実教出版株式会社）							
参考文献	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博、株式会社インプレス刊）							
補足事項	1. この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在学生も受講することができる（実習期間中の授業の開講については、別途指示する）。 2. 本授業で取り上げる数値処理演習では、Microsoft Excelの標準搭載機能を利用する。 3. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 4. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合、教務課掲示板等にて通知する。							

科目名	SDGs 入門		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治 他
ナバリングコード	GEE3121		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業は、所属学科を問わず、誰でも履修することができる。 SDGs (Sustainable Development Goals/日本語訳「持続可能な開発目標」)の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。この授業では全17個ある目標のうち、特に本学の学生に必要な14個の目標について学ぶ。							
到達目標	1. SDGsの提唱意義および内容を理解している。 2. SDGsへの理解を通して、日本および世界の現状を見抜く洞察力を習得している。 3. SDGsの学習を通して、社会人としての自覚を持ち、社会への貢献に係る考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3,4 ）							
授業計画	第1回	内容	総論（授業の進め方、MDGsからSDGへ、SDGs制定の歴史的背景、MDGsとSDGsの相違、その他）[北野・星野]	予習	シラバスに目を通しておく。	復習	授業の目的を理解する。	
	第2回	内容	目標1：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる [加賀谷]	予習	SDGsの「目標1」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第3回	内容	目標2：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する [橋本]	予習	SDGsの「目標2」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第4回	内容	目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する [関]	予習	SDGsの「目標3」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第5回	内容	目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する [伊澤]	予習	SDGsの「目標4」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第6回	内容	目標5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る [信田]	予習	SDGsの「目標5」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第7回	内容	目標6：すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する [北野]	予習	SDGsの「目標6」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第8回	内容	目標7：すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する [北野]	予習	SDGsの「目標7」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第9回	内容	目標8：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する [信田]	予習	SDGsの「目標8」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。	
復習				配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第10回	内容	目標11：都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする [河崎]	予習	SDGsの「目標11」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第11回	内容	目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する [北野]	予習	SDGsの「目標12」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第12回	内容	目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る [北野]	予習	SDGsの「目標13」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第13回	内容	目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する [中村]	予習	SDGsの「目標14」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第14回	内容	目標15：陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物の多様性損失の阻止を図る [中村]	予習	SDGsの「目標15」について概要を把握する。	復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
第15回	内容	目標16：持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある法相的な制度を構築する [鈴木] 総括（全体のまとめ、その他）[北野・星野]	予習	SDGsの「目標16」について概要を把握する。	復習	これまでの全配布資料などを通して授業全体を理解するとともに、今後の履修者自身のSDGsへの貢献について考察する。		
			復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業におけるリアクションペーパー等の記述および提出（詳細は各回の担当教員が指示する）を通して、SDGs全般への理解を深める。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）
教科書	必要に応じて紹介する。
参考文献	必要に応じて紹介する。
補足事項	この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在生も受講することができる。 この授業は、複数の教員が共同担当するオムニバス形式の対面授業である。取り扱うテーマごとに、担当教員は異なる。 2024（令和6）年度開講分の担当教員[授業担当コマ数]は、次のとおりである（担当順。各教員の担当授業回は「授業計画」欄を参照）。 北野大[6]、加賀谷崇文[1]、橋本洋子[1]、関維子[1]、伊澤永修[1]、信田理奈[2]、河崎由美子[1]、中村陽一[2]、鈴木みなみ[1]、星野治[2] 教員によっては、リアクションペーパーとは別に、追加の課題を出題することがある（詳細は、各授業の担当教員の指示に従うこと）。

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	心理学、コミュニケーション、アサーション等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。							
到達目標	1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2. 学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3. 問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2,3)							
授業計画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等			予習	シラバスやゼミ案内書を読む。	
					復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。		
	第2回	内容	論文作成についての概説①			予習	論文とは何か、その概要を調べる。	
					復習	講義内容を理解する。		
	第3回	内容	論文作成についての概説②			予習	前回の講義内容を理解する。	
					復習	講義内容を理解する。		
	第4回	内容	各学生による研究テーマの選定①			予習	テーマについて考える。	
					復習	テーマの選定方法について理解する。		
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定②			予習	自己の卒論テーマを考える。	
					復習	テーマの選定を実際に試みる。		
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定③			予習	自己の卒論テーマをしぼる。	
					復習	テーマの選定を実際に試みる。		
	第7回	内容	文献・資料収集①			予習	テーマに関連する文献を探す。	
					復習	文献を読む。		
	第8回	内容	文献・資料収集②			予習	文献研究の概要を調べる。	
					復習	文献研究の意義と方法について理解する。		
第9回	内容	中間発表会			予習	レジュメ作成。		
				復習	レジュメの修正。			
第10回	内容	論文執筆の関する説明			予習	論文に関して、これまでの学びの展開。		
				復習	講義内容を理解する。			
第11回	内容	論文執筆①			予習	論文を書く。		
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
第12回	内容	論文執筆②			予習	論文を書く。		
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
第13回	内容	論文執筆③			予習	論文を書く。		
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
第14回	内容	論文執筆④			予習	論文を書く。		
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。			
第15回	内容	卒論発表会			予習	レジュメの完成、配布。		
				復習	論文作成を今後に生かすことを考える。			
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論発表会を通して必要なフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(80%)、作品・発表(20%)							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	特に指定しない。							
補足事項								

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	本ゼミナールではコンピュータに関することを学びます。特に、デジタル作品の制作(動画作成、3Dモデル作成、3Dプリンタなど)を学習します。また、VRの体験やコミュニケーション能力向上のためのグループワークなどや、ICTを活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。本授業はある程度コンピュータが使いこなせる人がさらにコンピュータスキル向上を目指すものです。							
到達目標	1. コンピュータに関する知識を身につけている。 2. デジタル作品を制作するための知識やスキルを身につけている。 3. ゼミナール II に向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	3Dモデルの作成① Blenderの基本的操作			予習	Blenderについて調べる	
					復習	Blenderの操作について復習する		
	第3回	内容	3Dモデルの作成②			予習	作成したいデジタル作品を考える	
					復習	Blenderの操作を復習する		
	第4回	内容	3Dプリンタ			予習	3Dプリンタについて調べる	
					復習	作品の制作を振り返る		
	第5回	内容	MMD動画作成①			予習	MMDについて調べる	
					復習	MMDの基本的操作を復習する		
	第6回	内容	MMD動画作成②			予習	MMDの動きを考える	
					復習	MMDの基本的操作を復習する		
	第7回	内容	MMD動画作成③			予習	MMDの動きを考える	
					復習	MMDの作品を振り返る		
	第8回	内容	VRの体験・eスポーツ①			予習	VRについて調べる	
					復習	VRの活用について考える		
第9回	内容	VRの体験・eスポーツ②			予習	eスポーツについて調べる		
				復習	eスポーツの活用について考える			
第10回	内容	ワードプレスによるホームページ作成①			予習	ワードプレスについて調べる		
				復習	ワードプレスの仕組みに復習する			
第11回	内容	グループワーク①			予習	グループワークで行なう内容を確認する		
				復習	グループワークの計画を整理する			
第12回	内容	グループワーク②			予習	グループワークの計画を確認する		
				復習	グループワークの内容を整理する			
第13回	内容	グループワーク③			予習	グループワークの計画を確認する		
				復習	グループワークで行なったことをまとめる			
第14回	内容	ワードプレスによるホームページ作成②			予習	HTML、CSSについて調べる		
				復習	ワードプレスでの操作を復習する			
第15回	内容	ワードプレスによるホームページ作成③			予習	デザインを考える		
				復習	ワードプレスでの操作を復習する			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品への講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的参加】(50%)							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	2年次の卒業論文・卒業制作にむけて必要な知識と技能を身につけるための授業です。文献探索の方法、探索した文献の読みかた、レポート・論文の書き方、執筆に使うソフトの使い方について学び、最終的に授業での成果をまとめて発表します。また、授業を通してゼミナールIIで扱うテーマ（図書館、公共サービス、生涯学習等について）を決定します。							
到達目標	1. 文献を探索・収集し、整理する能力を身につけている 2. 文献調査の結果を文章としてまとめ、発表することができる 3. 卒業論文執筆時に必要なツールを使用することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2、3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	自分が研究したいテーマについて考える			
	第2回	内容	文章の書き方①（要約と縮約）	予習	要約と縮約の違いを調べる			
				復習	授業内で出された課題に取り組み、提出する			
	第3回	内容	文章の書き方②（作文）	予習	テーマに合わせて作文を書く			
				復習	添削されたものを修正する			
	第4回	内容	文章作成ソフトの使い方、プレゼンテーションソフトの使い方	予習	ワードもしくはドキュメントを使用できるようにしておく			
				復習	授業内で扱った機能を一人でも使用できるように復習する			
	第5回	内容	テーマの設定	予習	研究したいテーマの候補をいくつか考えておく			
				復習	教員と相談し、テーマを決定する			
	第6回	内容	文献探索の方法	予習	CiNii Research にアクセスして使ってみる			
				復習	自身のテーマに合わせて論文を探してみる			
	第7回	内容	学術文献の読み方	予習	第6回で探した文献に目を通す			
				復習	文献購読シートをまとめる			
	第8回	内容	文献購読①	予習	研究テーマに即した文献を入手しておく			
				復習	文献購読シートをまとめる			
	第9回	内容	文献購読②	予習	研究テーマに即した文献を入手しておく			
				復習	文献購読シートをまとめる			
	第10回	内容	「はじめに」の作成	予習	研究のタイトルと研究目的を考えてくる			
				復習	教員と相談して、執筆を進める			
	第11回	内容	グループワーク①	予習	グループワークで行なう内容を確認する			
				復習	グループワークの計画を整理する			
	第12回	内容	グループワーク②	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークの内容を整理する			
	第13回	内容	グループワーク③	予習	グループワークの計画を確認する			
				復習	グループワークで行なったことをまとめる			
	第14回	内容	発表準備	予習	第4回と第10回の内容を復習する			
				復習	発表資料を完成させ、提出する			
	第15回	内容	発表	予習	発表の練習をしておく			
				復習	自身の発表の振り返りをする			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出物について、適宜フィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）							
教科書	指定しません。必要に応じて資料を配布します							
参考文献	『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第3版』（井下千似子、慶應義塾大学出版会） 『日本語練習帳』（大野晋、岩波書店）							
補足事項								

科目名	ゼミナールⅠ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	卒業研究・論文・制作を作成する2年時のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが中心であるが、歴史や文化に興味のある人も対象とする。こうした分野への関心の立て方や問題意識をどのように掘り起すのか、宇治拾遺物語と小泉八雲の『怪談』を読み進める中で指導する。							
到達目標	1. ゼミナールⅡのテーマを決定できる。 2. 日本の文学・文化・歴史についての基礎知識を身に付けている。 3. 資料の収集と整理の方法を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1, 2)							
授業計画	第1回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針について	予習	関心のある作者作品を書き出す	復習	自身のテーマを幾つかに限定する	
	第2回	内容	印象に残る読書と残らない読書の違い	予習	これまでの読書歴を書き出す	復習	読書に関して留意すべき事柄をまとめる	
	第3回	内容	宇治拾遺物語をよむ①昔話を含むこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	昔話の歴史的社会的背景について整理する	
	第4回	内容	宇治拾遺物語をよむ②原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	昔話「こぶとり爺さん」との違いをまとめる	
	第5回	内容	宇治拾遺物語をよむ③原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	昔話「わらしべ長者」との違いをまとめる	
	第6回	内容	宇治拾遺物語をよむ④昔話と社会通念	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す	復習	現代との社会通念の違いをノートにまとめる	
	第7回	内容	怪談をよむ①源平の争乱と「耳なし芳一」	予習	小泉八雲について調べる	復習	平家物語の壇ノ浦の戦いと安徳天皇についてノートにまとめる	
	第8回	内容	怪談をよむ②「耳なし芳一」から亡霊について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	亡霊のイメージを整理してノートにまとめる	
	第9回	内容	怪談をよむ③「お貞の話」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	転生についてノートにまとめる	
	第10回	内容	怪談をよむ④「勝五郎の転生記」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	転生についてノートにまとめる	
	第11回	内容	銀河鉄道の夜をよむ①作者宮沢賢治の生涯	予習	宮沢賢治について調べる	復習	宮沢賢治の生涯をノートにまとめる	
	第12回	内容	銀河鉄道の夜をよむ②午後の授業と星まつりの夜	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる	
	第13回	内容	銀河鉄道の夜をよむ③鳥を取る人	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる	
	第14回	内容	銀河鉄道の夜をよむ④宮沢賢治が伝えようとしたこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す	復習	「よむ」際の留意事項について過去の分と合わせて整理してまとめる	
	第15回	内容	「よむ」という行為についてまとめる	予習	これまでのノートを見直して疑問点を書き出す	復習	読書の作法についてノートを整理してまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施()する／(○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(70 %)、作品・発表()%、実技()%、授業態度【主体性】(30 %)						
	教科書	その都度指示する						
	参考文献	適宜支持する						
	補足事項							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	Web デザインの知識とスキルを学習する。前半は「利用者にとって魅力的な Web デザインとは何か」をテーマに、自分の好きな Web サイトを通じて、構成内容や使い勝手、画像、文章に着目して考察する。後半は、ゼミナール II に向けて、Web サイトの制作方法を習得していく。							
到達目標	1. テーマを理解して、調査し、まとめることができる。 2. 自らの考えを伝える表現の工夫ができる。 3. Web サイト制作の基礎的な技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	画像編集① ソフトの基本操作	予習	グラフィックソフトを調べる			
				復習	グラフィックソフトを使ってみる			
	第3回	内容	画像編集② サイズ変更とトリミング	予習	画像の保存形式を調べる			
				復習	保存方法を理解する			
	第4回	内容	画像編集③ 色の修正とグラデーション	予習	複数サイトからトップ画像の色使いを見ておく			
				復習	グラデーションやぼかし方をマスターする			
	第5回	内容	画像編集④ 文字入れと背景	予習	画像と文字のバランスを考える			
				復習	余白の重要性を理解する			
	第6回	内容	Web ライティング① 情報収集の重要性	予習	サイトのターゲットを考える			
				復習	サイトの目的や特徴、ターゲットをまとめる			
	第7回	内容	Web ライティング② タイトルとキャッチフレーズ	予習	ユーザを想定してタイトルを考える			
				復習	短く印象に残るキャッチフレーズを作ってみる			
	第8回	内容	Web ライティング③ 文章のレイアウトと言葉の選び方	予習	ユーザを想定して文章を考える			
				復習	レイアウトの違いとわかりやすさを意識する			
第9回	内容	サイトの制作① HTML ファイル作成	予習	フォルダとファイルを理解する				
			復習	HTML ファイルを作成する				
第10回	内容	サイトの制作② CSS ファイル作成	予習	CSS ファイルの作り方を理解する				
			復習	デザインが反映しているか確認をする				
第11回	内容	サイトの制作③ レイアウト指定	予習	div タグを理解する				
			復習	レイアウトが反映しているか確認をする				
第12回	内容	サイトの制作④ フォームの作成	予習	フォームとは何か調べる				
			復習	フォームが作成できているか確認する				
第13回	内容	サイトの制作⑤ id と class	予習	id と class の違いを調べる				
			復習	id と class の違いを理解する				
第14回	内容	サイトの制作⑥ 画像加工	予習	画像の著作権について調べる				
			復習	画像修正方法を振り返る				
第15回	内容	サイトの制作⑦ まとめ	予習	サイトの完成に近づける				
			復習	サイトの完成を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題・発表への講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（40%）							
教科書	必要に応じ、プリント配布する							
参考文献	なし							
補足事項	なし							

科目名	ゼミナール I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	卒業・卒業制作をすることを最終目的にそのための調査をし、自らのテーマに基づく作品を仕上げるアクティブプランニングの授業である。舞台衣装を中心にファッション・アパレルに関係するアイテムはじめ想像力を磨き、衣装を学び、自ら製作することにする。							
到達目標	1. 想像力を育ために各種ファッション・アパレル製品を調査することができる。 2. 自然を学ぶためのフィールドワークを実施することができる。 3. 自らファッション・アパレルアイテムを制作することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2、3)							
授業計画	第1回	内容	授業内容についての説明	予習	何を研究したいのかを考えておく。			
				復習	何を研究したいのかを考えておく。			
	第2回	内容	日本のファッション全般を知りモチベーション向上時間	予習	自分のすきなものを考えてみよう。			
				復習	何を取り入れたいか分析してみる。			
	第3回	内容	フィールドワーク(自然の色を見る)	予習	自然研究の論文をみしておくこと。			
				復習	自然の色について考えてみよう。			
	第4回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作の予習をすること。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第5回	内容	コラージュ制作	予習	アイテム制作。			
				復習	出来上がった作品の自己評価をする。			
	第6回	内容	コラージュ制作発表	予習	発表の準備をする。			
				復習	発表の内容について再度、考えてみよう。			
	第7回	内容	ファッションとSDGs	予習	SDGsについて調べておく。			
				復習	ファッションとSDGsの関連を理解する。			
	第8回	内容	ファッション雑誌の比較研究	予習	自分の気になるファッション雑誌に目を通しておく。			
				復習	自分のファッションの選択が変わったか考えてみよう。			
第9回	内容	シニアのファッションの国際比較	予習	シニアで気になるファッションを調べておく。				
			復習	国によって異なることや共通することを理解する。				
第10回	内容	ファストファッション(ユニクロ、Zaraなど)の広がりについて	予習	ファストファッションについて調べておく。				
			復習	ファストファッション普及の背景を理解する。				
第11回	内容	ハイブランドファッションについて	予習	ハイブランドについて調べておく。				
			復習	ハイブランドが与えた影響を理解する。				
第12回	内容	気候風土とファッション	予習	気候風土とファッションの関係を調べておく。				
			復習	気候風土と関りがあることを理解する。				
第13回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
			復習	発表作品の改善点を考える。				
第14回	内容	模擬ファッションショー	予習	自分の発表作品の準備をする。				
			復習	発表作品の改善点を考える。				
第15回	内容	提出レポートと質疑応答	予習	発表に備えた準備をしておく。				
			復習	振り返って授業で得たものを確認すること。				
予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	調査・資料収集、作品作りにあたっては教員が個別指導します。必ず教員の個別指導を受けてください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(40%)、作品・発表(30%)、実技()%、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	なし。							
参考文献	なし。							
補足事項	なし。							

科目名	短大生基礎力演習		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳 他
ナンバリングコード	GEE3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本授業は4人の教員が分担して行う授業です。内容は、これからの大学での学習にとって不可欠の知識及び卒業後の社会人として不可欠の知識とし、①時事問題②基礎数学③国語教養④英語等で構成します。また、大学生活を送るうえで必要な知識や姿勢について社会人に学ぶ授業を随時取り入れていきます。学生は3つのグループに分かれ、4人の教員がそれぞれ分担して1グループ2回ずつ行いことにしています。							
到達目標	1. 大学生として不可欠な基礎的な知識を身につけている。 2. 社会人として必要な基礎的な知識を身につけている。 3. 幅広い教養を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1. 3）							
授業計画	第1回	内容	大学生活及び学習生活における注意事項の説明等。	予習	学生便覧を読んでおいてください。	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	授業内容の説明とグループ分け。	予習	4つの分野の一般的知識について調べる	復習	この科目で行なうことを復習する	
	第3回	内容	時事問題①政治・経済	予習	政治・経済の一般的知識について調べる	復習	政治・経済に関して復習する	
	第4回	内容	時事問題②環境	予習	環境の一般的知識について調べる	復習	環境に関して復習する	
	第5回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第6回	内容	基礎数学①四則計算	予習	計算の一般的知識について調べる	復習	計算に関して復習する	
	第7回	内容	基礎数学②データ解析	予習	データ解析の一般的知識について調べる	復習	データ解析に関して復習する	
	第8回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第9回	内容	国語教養①	予習	国語の一般的知識について調べる	復習	国語に関して復習する	
	第10回	内容	国語教養②	予習	国語の一般的知識について調べる	復習	国語に関して復習する	
	第11回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第12回	内容	英語①	予習	歴史の一般的知識について調べる	復習	歴史に関して復習する	
	第13回	内容	英語②	予習	地理の一般的知識について調べる	復習	地理に関して復習する	
	第14回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる	復習	講演内容について復習する	
	第15回	内容	後期のゼミの説明とゼミ決定。	予習	各ゼミについて調べる	復習	これまで行なったことを振り返る	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	各教員から課題などに対するフィードバックがあります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（80%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出等】（20%）							
教科書	特に指定しません。教材は各教員が配布します。							
参考文献	とくにありません							
補足事項	上記表で示した第3回から第14回までの授業はいずれも4人の教員が同時進行するものであり、シラバスの順番通りに実施するものではありません。加賀谷崇文15回、江本全志15回、土屋深優15回、伊藤明芳15回							

科目名	ことばと表現	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3211	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	短大生に必要とされるさまざまな文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。						
到達目標	1.さまざまなタイプの文章の内容について理解している。 2.要求され事柄が的確に文章で伝えられる。 3.自らの考えが口頭で伝えられる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1、2)						
授業計画	第1回	内容	授業の開始にあたって	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第2回	内容	新聞記事を読む①	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第3回	内容	新聞記事を読む②	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第4回	内容	新聞記事を読む③	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第5回	内容	新聞記事を書き写す①	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第6回	内容	新聞記事を書き写す②	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第7回	内容	新聞記事を書き写す③	予習	書き写し用の記事を用意する	復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む
	第8回	内容	時事問題について考える①	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第9回	内容	時事問題について考える②	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第10回	内容	新聞記事を要約する①	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第11回	内容	新聞記事を要約する②	予習	興味のある新聞記事を用意する	復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる
	第12回	内容	語彙を豊かにする①	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す	復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる
	第13回	内容	語彙を豊かにする②	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す	復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる
	第14回	内容	漢字検定に挑戦する①	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく	復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する
	第15回	内容	漢字検定に挑戦する②	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく	復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎回の授業時と提出時に各自にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(70)%、作品・発表()%、実技()%、授業態度【主体性】(30)%						
教科書	プリントを配布						
参考文献	必要に応じて指示する						
補足事項	復習を徹底して行うことが何より重要						

科目名	ことばと表現	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナンバリングコード	CUL3211	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	短大生に必要とされるさまざまな文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。						
到達目標	1. さまざまなタイプの文章の内容が理解している。 2. 要求された内容について文章で的確に伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で伝えることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1・2)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス～授業の開始にあたって	予習	一般にことばと表現とは何かを考える	復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる
	第2回	内容	国語常識	予習	便覧などから国語常識の分野の資料を探す	復習	特に間違えた問題をやり直す
	第3回	内容	敬語	予習	身の回りで用いる敬語について確認する	復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる
	第4回	内容	手紙文	予習	手紙文の形式について確認する	復習	実際に手紙文を書いてみる
	第5回	内容	論理的な文章の展開	予習	論理的文章にはどのようなものがあるか調査する	復習	論理展開の基礎知識をまとめる
	第6回	内容	正確に文章を理解する	予習	正確で早く理解する為の工夫について考える	復習	認知機能の特性と正確な理解の関係をまとめる
	第7回	内容	的確に伝える	予習	的確に伝わらない場面の事例を集める	復習	ノイズの理論に沿って解決方法を考える
	第8回	内容	クリティカルシンキングと考察	予習	クリティカルシンキングとは何か調べる	復習	クリティカルシンキングの事例を整理する
	第9回	内容	さまざまなタイプの文章 説明文①	予習	生活の中に見られる説明文を探す	復習	説明文を難しいと認識する理由を理解する
	第10回	内容	さまざまなタイプの文章 説明文②	予習	生活の中に見られる論説文を探す	復習	論説文を構造的に理解する
	第11回	内容	さまざまなタイプの文章 評論文①	予習	生活の中に見られる評論文を探す	復習	評論文の構造的特徴を意識しプリントを読む
	第12回	内容	さまざまなタイプの文章 評論文②	予習	評論文の構造について整理する	復習	構造を意識して評論文を書いてみる
	第13回	内容	さまざまなタイプの文章 文学的文章①	予習	生活の中に見られる文学的表現を探す	復習	身近な文学的表現を整理する
	第14回	内容	さまざまなタイプの文章 文学的文章②	予習	近代以降の表記の変化について調べる	復習	言文一致や外来語についてまとめる
	第15回	内容	自己表現とことば	予習	ことばで自己表現する為の素材を集める	復習	ことばの力を意識して自己表現する
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。						
課題へのフィードバック	口頭発表や提出した素材を基に振り返りを行う。毎時提出されたプリントにコメントをフィードバックする。更に補完し再提出する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(50%)、授業態度【積極的参加】(50%)						
教科書	プリント配布します						
参考文献	都度指示します。						
補足事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出し、作成したレポートを基に発表を行います。 授業時には個人の端末(スマートフォン、タブレット、PC)を用いて、参考となるwebを閲覧します。						

科目名	情報処理演習		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	コンピュータの基本的な操作、文書作成ソフトのワード、表計算ソフトのエクセル、プレゼンテーションソフトのパワーポイントの使い方を中心に学びます。また、電子メールの使い方、マルチメディアの画像作成なども学びます。大学生活や今後の社会生活において困らないコンピュータスキルを身に付けることを目指します。							
到達目標	1. パソコンの日常生活の利用で困らないタイピングスキルを身につけている。 2. ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 3. 情報の利活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる			
				復習	コンピュータの操作を復習する			
	第3回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる			
				復習	画像編集ソフトの使い方を復習する			
	第4回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング・電子メール ICT を用いたクリッカーや双方向アンケートの活用	予習	情報モラルについて調べる			
				復習	タイピングの練習をする			
	第5回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる			
				復習	二段組みのやり方を復習する			
	第6回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる			
				復習	表の作り方を復習する			
	第7回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる			
				復習	画像の貼り付け方を復習する			
	第8回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる			
				復習	数式の入れ方を復習する			
	第9回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル グラフを使った情報分析	予習	家計簿の仕組みについて調べる			
				復習	SUMIF 関数を復習する			
	第10回	内容	エクセル グラフを使った情報分析の続き	予習	グラフの種類について調べる			
				復習	複合グラフの作り方を復習する			
	第11回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える			
				復習	セルの装飾の仕方を復習する			
	第12回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる			
				復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する			
	第13回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる			
				復習	アニメーション機能を復習する			
	第14回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える			
				復習	画像の背景の消し方を復習する			
	第15回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の続き	予習	スライドマスタについて調べる			
				復習	スライドマスタの使い方を復習する			
	第16回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる			
				復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する			
	第17回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる			
				復習	色の取得方法を復習する			
	第18回	内容	エクセル 計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる			
				復習	計算式の入れ方を復習する			
	第19回	内容	エクセル 関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる			
				復習	関数の使い方を復習する			
	第20回	内容	エクセル 関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる			
				復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する			

	第 21 回	内容	ワード 履歴書の作成	予習	ワードの表機能について調べる
				復習	表の作り方を復習する
	第 22 回	内容	ワード ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する
	第 23 回	内容	エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の計算について調べる
				復習	家計簿の作り方を復習する
	第 24 回	内容	エクセル 絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる
				復習	絶対参照の使い方を復習する
	第 25 回	内容	ワード・エクセル 差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる
				復習	差し込み文書のやり方を復習する
	第 26 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる
				復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する
	第 27 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる
				復習	VLOOKUP 関数を復習する
	第 28 回	内容	ワード 本の形式	予習	スタイル機能について調べる
				復習	スタイル機能を復習する
	第 29 回	内容	ワード 本の形式の続き	予習	ヘッダー・フッター機能について調べる
				復習	目次の作り方を復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	なし				

科目名	日本文化論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及川 道之
ナンバリングコード	CUL3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	明治43年（1910）柳田國男によって刊行された『遠野物語』に収められた民話や昔話を読む。そこに描かれている近代以前の人々の暮らしと自然との関わりのあり様を通して、限られた特定の人々の歴史とは異なる、後世に多くを伝えられることのない一般の人々の人生に迫る。							
到達目標	1. 民話や昔話の内容を味読できる。 2. 近代以前の人々の日常の営みを理解している。 3. 自身の内面に歴史的想像力を育てることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）							
授業計画	第1回	内容	授業を始めるにあたって	予習	幾つかの話を選んで声にして読んでみる	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第2回	内容	明治43年前後の日本と世界	予習	明治43年（1910）前後の社会について調べる	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第3回	内容	遠野物語「序文」と柳田國男の思い	予習	序文を繰り返し読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第4回	内容	「地域限定」の神々～オシラサマ・カクラサマ等々	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第5回	内容	山に棲むモノたち～山神・山人	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第6回	内容	ザシキワラシと家々の盛衰	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第7回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たちと人びとの暮らし	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第8回	内容	狼と人との葛藤	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第9回	内容	異界としての山	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第10回	内容	この世からの離別～最期に人が望むこと	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第11回	内容	異類との遭遇～カッパ・天狗	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第12回	内容	富の獲得～マヨヒガ	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第13回	内容	山地と海岸の交流	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第14回	内容	合戦と津波～史実と災害はどう記憶されたか	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す	復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる	
	第15回	内容	授業の終わりにあたって～近代以前の人々の内的世界	予習	これまでのノートを整理する	復習	当時と現代の「常識」の違いについて考察する	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【自主性】（30%）							
教科書	『遠野物語』（柳田國男 角川ソフィア文庫）							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項								

科目名	ヒューマンスキル演習	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志 他
ナバリングコード	CAE3211	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	この授業は対人基礎力を養うための授業です。近年少子化により兄弟が少ない家庭が多くなり、日常的に大人数の中で行動することが減っています。それに伴い、友達が作れないなど、人と関係を構築することが苦手な学生が増えています。この授業では、多くの交流の場を用意し、教員がサポートすることで、学生が集団の中で交流できる力を身に付けることを目指す。						
到達目標	1. 他者とうまく関わる努力ができる。 2. 自らが踏み出して他者と会話ができる。 3. 対人関係における情動やストレスのコントロールの仕方を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1, 2, 4 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・自己紹介など	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	コミュニケーションカードゲーム（グループワーク）	予習	コミュニケーションカードゲームについて調べる		
				復習	コミュニケーションについて復習する		
	第3回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える		
				復習	相談会での内容を復習する		
	第4回	内容	スポーツ演習（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる		
				復習	バレーボールの動きについて復習する		
	第5回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく		
				復習	話した内容を復習する		
	第6回	内容	スポーツ演習（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる		
				復習	バレーボールの動きについて復習する		
	第7回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく		
				復習	話した内容を復習する		
	第8回	内容	図書館の使い方と書籍や文献の検索方法	予習	図書館についての情報を確認する		
				復習	検索方法を復習する		
第9回	内容	eスポーツ	予習	eスポーツについて調べる			
			復習	eスポーツの効果について考える			
第10回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
			復習	学外研修について復習する			
第11回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
			復習	学外研修について復習する			
第12回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える			
			復習	相談会での内容を復習する			
第13回	内容	外部講師の講演	予習	講演のテーマについて確認する			
			復習	講演の内容を整理する			
第14回	内容	共同制作（グループワーク）	予習	グループワークの計画を確認する			
			復習	グループワークの内容を整理する			
第15回	内容	共同制作（グループワーク）	予習	グループワークの計画を確認する			
			復習	グループワークで行なったことをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項	状況により授業内容が変更になる可能性があります。交通費や食事代、材料費などは自己負担となります。 伊藤明芳 15 回、江本全志 15 回、土屋深優 15 回						

科目名	インターンシップ		単位数	2	授業時間数	90	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリングコード	CAE3221	授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	本実習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解して身につけ、また、実際の現場での実習を通して職業の実際を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考えることができ、将来の職業選択に寄与すると考えられる。						
到達目標	1. 社会人として必要なマナーや作法の基礎を身につけている。 2. 社会人としてのコミュニケーション能力の基本が身についている。 3. 職業選択活動、就業における積極性を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,3,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)	予習	インターンシップについて調べる。	復習	本実習の概要を理解する。
	第2回	内容	基本的なマナー①(心構え、言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。	復習	各マナーを整理する。
	第3回	内容	基本的なマナー②(電話のかけ方、受け方等)	予習	電話の応答について考える。	復習	電話応答について整理する。
	第4回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種、職業の調査	予習	実習先を考える。	復習	実習先の情報をまとめる。
	第5回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接マナーについて考える。	復習	書類の書き方を復習する。
	第6回	内容	実習先の決定と申し込み	予習	実習先へ申し込みを準備。	復習	実際に実習先への連絡を実施する。
	第7回	内容	先輩から学ぶ(先輩による体験報告会)	予習	インターンシップの体験過程を推測する。	復習	先輩からの学びを整理する。
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。	復習	実習時の学びを振り返る。
	第13回	内容	インターンシップ実習報告会準備	予習	報告会の内容を考える。	復習	報告会の発表内容を確認する。
	第14回	内容	インターンシップ実習報告会②(受講生の発表)	予習	報告会の練習をする。	復習	報告会を振り返り学びを深める。
	第15回	内容	インターンシップ実習報告会②(講評)	予習	報告会の練習をする。	復習	報告会を振り返り学びを深める。
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	インターンシップ実習と発表の講評をおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：(○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、実技(80%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	授業時に必要に応じて随時紹介する。						
補足事項							

科目名	ボランティア活動		単位数	2	授業時間数	90	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	CAE3212		授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	実際のボランティア活動を通して、人と人のつながり、地域社会への参加を経験し、ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について学びます。また、ボランティア活動を通して、将来の職業選択へのヒントを得たり、社会で働く上でのマナーや知識を身に付けることを目指します。							
到達目標	1. ボランティア精神や社会貢献の必要性、意義について説明することができる 2. 社会活動に参加する上での基本的なマナー、知識を身に付けている 3. 活動計画や日誌、報告書等を作成する、文書作成能力を身に付けている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3、4 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方を理解する			
	第2回	内容	社会貢献活動の意義（講義）	予習	社会貢献とは何を指すか調べる			
				復習	自身のボランティア経験を振り返り、活動の意義を考える			
	第3回	内容	ボランティアの歴史と現状（講義）	予習	日本のボランティアの制度について調べる			
				復習	所沢で行われているボランティア活動を調べて、概要を読む			
	第4回	内容	基本的マナー（講義）	予習	電話のかけ方を調べる			
				復習	自身の服装、言葉遣い等を見直し、改善する			
	第5回	内容	活動先の決定	予習	興味のある分野のボランティア活動について調べておく			
				復習	実習先に連絡する			
	第6回	内容	活動計画の作成	予習	活動内容について整理しておく			
				復習	計画を作成し、提出する			
	第7回	内容	ボランティア活動①	予習	活動の内容を改めて確認する			
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する			
	第8回	内容	ボランティア活動②	予習	活動の内容を改めて確認する			
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する			
第9回	内容	ボランティア活動③	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第10回	内容	ボランティア活動④	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第11回	内容	ボランティア活動⑤	予習	活動の内容を改めて確認する				
			復習	日誌を書き、活動での学びを整理する				
第12回	内容	報告会の準備	予習	日誌の内容をまとめておく				
			復習	発表資料を作成し、提出する				
第13回	内容	報告会（発表）	予習	発表の練習をする				
			復習	自身の発表内容を振り返る				
第14回	内容	実習日誌の作成	予習	実習の記録と報告会の内容をまとめておく				
			復習	全体としての実習記録を作成し、提出する				
第15回	内容	実習日誌の作成②	予習	教員からのフィードバックを受けて修正する				
			復習	実習記録の最終版を提出する				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	各自のボランティア活動に合わせて、適宜フィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（35%）、作品・発表（35%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	指定しません。必要に応じて資料を配布します							
参考文献	指定しません。必要に応じて授業内で指示します							
補足事項	活動先との日程に合わせて、授業の曜日や時限が前後する可能性があります。個別に相談して決定します。							

科目名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	きたの いう 北野・伊藤
ナバリングコード	CAE3213	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心とした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。宿題として、毎回「気づきノート」の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。						
到達目標	1. 企業の職種、業種を理解している。 2. 企業の人材採用方針について理解している。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識している。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3, 4)						
授業計画	第1回	内容	学長講話	予習	シラバスを読んでおくこと。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第2回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第3回	内容	学長講話	予習	前回内容の復習と小レポート提出。		
				復習	授業内容を確認し、小レポートを作成すること。		
	第4回	内容	業界・企業研究①	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。小レポート提出。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第5回	内容	業界・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第6回	内容	業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第7回	内容	SPI	予習	SPIについて調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
	第8回	内容	業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。		
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること		
第9回	内容	業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第10回	内容	業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第11回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第12回	内容	社会人としてのマナー②	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第13回	内容	社会人としてのマナー③	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第14回	内容	社会人としてのマナー④	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第15回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題(気づきノートの作成)などを通じて学習内容の理解増進を図ります。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(90%) 作品・発表()%、実技()%、授業態度【課題提出状況】(10%)						
教科書	特にしてしません。						
参考文献	特にありません。						

補足事項

毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。

科目名	観光学総論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	観光は、物販売り上げ、雇用など地域を元気にし、経済効果が大き、人口減少の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたいなどの思いがある。観光の歴史、産業としての観光、宿泊業や交通、旅行会社などの現状、そうした業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到達目標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解している。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンド（訪日外国人観光客）への取り組みについて、語る事ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1.2.3 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義についてまとめる	
	第2回	内容	観光とは何か。観光が重視される背景は何か	予習	なぜ、観光が重視されるのか調べておく	復習	授業内容を整理し、観光の役割をまとめておく	
	第3回	内容	江戸時代のお伊勢参りから始まる観光の歴史	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく	復習	近年の温泉ブームを含む観光の歴史をまとめる	
	第4回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは	予習	産業界における観光業について調べておく	復習	観光と他産業との比較をまとめておく	
	第5回	内容	観光における日本の強みとは何か。温泉やおもてなし。	予習	おもてなし文化など日本観光強みを調べておく	復習	自分なりの日本の観光の強みをまとめておく	
	第6回	内容	観光大国といわれる外国における観光の位置付け	予習	フランスなど観光立国について調べておく	復習	授業に基づき海外の観光業の現状をまとめる	
	第7回	内容	観光産業① 宿泊業からみた観光	予習	コロナ禍対応を含め宿泊業について調べておく	復習	授業に基づき宿泊業の課題をまとめておく	
	第8回	内容	観光産業② 交通事業者＝鉄道、航空。旅行会社	予習	交通、旅行会社について調べておく	復習	交通、旅行会社の課題をまとめておく	
	第9回	内容	観光産業③ テーマパークと遊園地 イベントとの重複	予習	テーマパークと遊園地の現状を調べておく	復習	TDLがなぜ人気なのかなどを考えてみる	
	第10回	内容	コロナ禍後で戻ってきたインバウンド	予習	国、年ごとのインバウンドの推移を調べておく	復習	インバウンドがなぜ重要かまとめておく	
	第11回	内容	日本人と海外旅行。海外旅行の推移。	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく	復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめておく	
	第12回	内容	観光と情報発信 メディアから SNS まで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく	復習	ガイドブックから SNS への変化をまとめておく	
	第13回	内容	地方創生と観光	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく	復習	観光で成功している地域をまとめておく	
	第14回	内容	観光と IT 化 人手不足対応の切り札となるか	予習	IT 化は人手不足解消につながるかを調べておく	復習	観光分野の IT 化の成功事例をまとめておく	
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく	復習	資料をもとに発表する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて、毎回課題作文を提出し、授業のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ 、する／（○）しない） 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布、ウェブの関連サイトを紹介する							
参考文献	『令和5年版 観光白書』 観光庁編。『ディズニーランドの秘密』 有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』 よみうりランド、神崎公一編 中央公論事業出版社							
補足事項	課題作文は毎回提出してください。予習、復習には観光地や地方自治体のウェブサイトを活用してください。							

科目名	実用英語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。							
到達目標	1. 英語の基礎力を身につけている。(語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる) 2. ビジネス英語における基本的なコミュニケーションをとることができる。 3. ビジネス英語の文章で大意を理解することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて)	予習	シラバスを読んでおく	復習	TOEIC の試験概要について確認する	
	第2回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第3回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「名詞」について学んだことを理解する	
	第4回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第5回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「代名詞」について学んだことを理解する	
	第6回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第7回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「形容詞」について学んだことを理解する	
	第8回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第9回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「副詞」について学んだことを理解する	
	第10回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第11回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「時制 1」について学んだことを理解する	
	第12回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第13回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「時制 2」について学んだことを理解する	
	第14回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく	復習	授業で習った単語・フレーズを覚える	
	第15回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく	復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却・解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』(Robert Hickling、金星堂)							
参考文献	なし（必要な際はプリント等を配布する。）							
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。							

科目名	エアライン英会話		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
カバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。							
到達目標	1. 英語での自己表現が、感情豊かにできる 2. 英語での質疑応答ができる 3. エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション Public Announcements (ウェルカムアナウンス)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	エアラインでよく使われる用語と機内アナウンスの言い回しを覚える			
	第2回	内容	Finding seat (お客様をお座席にご案内する)	予習	機内のご案内用語の意味を調べてくる			
				復習	お客様のご案内の言葉をスムーズに言えるようにする			
	第3回	内容	Baggage in the aisle (お客様の手荷物の対応)	予習	お客様の手荷物に関わる単語の意味を調べる			
				復習	手荷物対応の場面を対応できるように練習する			
	第4回	内容	Before take off (離陸前の安全確認のやり取り)	予習	離陸前のお客様対応の専門用語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前のご案内の会話をスムーズに言えるように練習する			
	第5回	内容	Before take off Champagne Service (離陸前のシャンパンサービス)	予習	離陸前の飲み物サービスにかかる単語の意味を調べてくる			
				復習	離陸前の飲み物対応をスムーズに言えるように練習する			
	第6回	内容	Welcome Announcement (離陸直後のウェルカムアナウンス)	予習	アナウンスで使われている単語の意味を調べてくる			
				復習	ウェルカムアナウンスをスムーズに言えるように練習する			
	第7回	内容	Liquor & Meal Service (お食事前のお飲み物サービス)	予習	機内サービスのお飲み物を英語で言えるようにする			
				復習	機内のお飲み物サービスの問答をスムーズに言えるように練習する			
	第8回	内容	Entrée Order (お食事サービス)	予習	お食事メニューに出てくる単語の意味を調べる			
				復習	ステーキの焼き加減をうかがうフレーズをスムーズに言えるように練習する			
第9回	内容	Special Meal (特別食のサービス)	予習	特別食の種類について調べてくる				
			復習	特別食の対応がスムーズにできるように練習する				
第10回	内容	Inflight Entertainment (機内のエンターテインメントサービス)	予習	機内のエンターテインメントサービスの種類について調べる				
			復習	エンターテインメントサービスの説明がスムーズに言えるように練習する				
第11回	内容	Children's Entertainment (お子様のエンターテインメントサービス)	予習	お子様用のエンターテインメントの種類を調べる				
			復習	お子様への対応をスムーズに言えるように練習する				
第12回	内容	Route Information (飛行ルートのご案内)	予習	指定された飛行ルートの観光案内ができるように調べる				
			復習	飛行ルートのご案内がスムーズにできるように練習する				
第13回	内容	In flight sales (機内販売)	予習	機内免税サービスの取り扱い商品を調べる				
			復習	機内販売サービスをスムーズにご案内できるように練習する				
第14回	内容	Arrival Information アナウンス (到着のアナウンス)	予習	指定された現地の案内ができるように気候等について調べてくる				
			復習	到着の現地案内ができるように練習する				
第15回	内容	総仕上げ	予習	これまでに習ったアナウンスを発表できるように練習する				
			復習	習った英単語を再度学習する				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性】(20%)							

教科書	『書名』（著者名、出版社名）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
補足事項	授業で学んだ英単語を、旅行先や外国人との対話チャンスで活かしていく。

科目名	エアライン実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナバリングコード	TOS3216		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業はじめとする仕事の現場で求められる、知識・適正と能力(美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心)を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到達目標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2, 3)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CAの仕事研究			予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく	
					復習	この科目を通して習得・体得することを理解する		
	第2回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のマナー			予習	マナーの必要性を自分の言葉でまとめる	
					復習	日常生活のマナーを実践しなくなった理由をまとめる		
	第3回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・日常生活のホスピタリティ			予習	ホスピタリティに溢れた行動を書き出す	
					復習	ホスピタリティに溢れた行動ができるようになるか考える		
	第4回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解			予習	サービスとホスピタリティの言葉の意味を調べる	
					復習	日々の行動から自己理解を深める		
	第5回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い			予習	好感の持たれる身だしなみについて調べる	
					復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する		
	第6回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法			予習	言葉遣いの練習問題に取り組む	
					復習	習得した好印象の接客対応を身につける		
	第7回	内容	エアライン研究① ・国内航空会社・外資系航空会社の比較			予習	興味ある航空会社を調べる	
					復習	発表に向けて航空会社の特徴をまとめる		
	第8回	内容	エアライン研究② ・国内航空会社・外資系航空会社の比較発表			予習	調べた航空会社のプレゼンテーション資料をまとめる	
					復習	他者の発表を聞いたレポートをまとめる		
第9回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・機内サービスを実践する お食事サービス			予習	機内のお食事サービスについて調べる		
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
第10回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成② ・グラウンドホステスの仕事研究			予習	グラウンドホステスの仕事について調べる		
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
第11回	内容	チームの中でホスピタリティを発揮する ・チームワークの重要性・必要な要素・チームビルディング			予習	チームワークとは何かを調べてまとめる		
				復習	習得したチームビルディングのスキルを実施する			
第12回	内容	エアライン適正開発 ・CAの仕事研究			予習	CAの仕事について調べる		
				復習	CAの立ち居振る舞いを実践する			
第13回	内容	ホスピタリティ・コミュニケーション ・ホスピタリティ溢れる自分づくり			予習	これまでホスピタリティに溢れる行動を実践してきたことをまとめる		
				復習	取り組みたいホスピタリティ行動について実践する			
第14回	内容	エアライン適正開発 ② ・機内アナウンス実践 (演習)			予習	機内アナウンスパターンの練習をしてくる		
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
第15回	内容	エアライン適正開発 ③ ・好印象な接客対応を体得する (演習)			予習	授業で習ったホスピタリティ		
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(20%)、作品・発表(30%)、実技(30%)、授業態度【自主性・協調性】(20%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名)							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 『月刊 エアステージ』(イカロス出版)							

補足事項

授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。

科目名	基礎韓国語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナバリンコード	EAC3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	日本には他国から来た旅行者や移住者が毎年増えつつあります。他国の人々と共に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードになっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化の比較や異なる面白い文化を楽しく学びます。さらに多くの人々から愛されているドラマや音楽などを接しながらヒアリングや会話の練習、文法を学びます。コロナ感染症の状況を確認しながらリトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などでハングルの文字を身近に体験します							
到達目標	1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字を読むことができる。 2. 聞いた単語や簡単な文章を書くことができる。 3. 挨拶や簡単な会話ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1, 3, 4)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス (ハングルの成り立ちについて)	予習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む (p6-p7)			
				復習	子音と母音の役割について復習する。			
	第2回	内容	ハングルの発音 (子音) を学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと (p12)			
				復習	子音と音表記を10回ノートに書く。			
	第3回	内容	ハングルの発音 (母音)	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	基本母音10個と音表記を10回ノートで書く			
	第4回	内容	ハングル (パッチム) について学ぶ	予習	パッチムの音表記を覚えて置くこと			
				復習	パッチムの音表記を5回書く。			
	第5回	内容	子音と母音、パッチムの振り返り学習	予習	ハングル表を3回読んで置くこと			
				復習	ハングル表を5回ノートで書く。			
	第6回	内容	二重母音 (合成母音) について学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	二重母音11個の音表記と一緒に覚える。			
	第7回	内容	発音の練習—簡単な単語を読む	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	単語の音表記を書いて声を出して読む			
	第8回	内容	ハングルのスマートフォンで入力してみよう。	予習	テキスト p24-p25 を読んで置くこと			
				復習	単語をスマートフォンで入力して調べる。			
第9回	内容	教室でよく使う言葉について学ぼう	予習	テキスト p30 を読んで置く。				
			復習	単語の基本形を覚えよう。				
第10回	内容	挨拶の言葉について学ぼう	予習	テキストの裏の表紙に書いてある挨拶文を読んで置くこと。				
			復習	挨拶文を覚えて書いてみる。				
第11回	内容	自己紹介—丁寧な言葉を学ぼう。	予習	テキスト p 31 を読んで置くこと				
			復習	簡単な自己紹介文についてテキストを参考に作成してみる。				
第12回	内容	かしこまった表現について学ぼう	予習	テキスト p 36 を読んで置くこと				
			復習	「かしこまった表現」を振り返って復習する。				
第13回	内容	これは何ですか—指示代名詞について学ぼう	予習	テキスト p 44 を読んで置くこと。				
			復習	配布した資料をみて指示代名詞を覚えよう。				
第14回	内容	指示代名詞を使って会話の文書を作ってみよう。	予習	配布した資料をノートで書いて置こう。				
			復習	指示代名詞を使った文章を作ってみる。				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	かしこまった表現、指示代名詞の資料を読んで置く。				
			復習	動詞や形容詞の基本形をかしこまった表現に活用する。				
予習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストは、赤ペンでチェックして返します。自分の課題や小テストを必ず確認してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、授業態度【小テスト+積極的な授業参加】(50%)							
教科書	最新、チャレンジ!韓国語 (金順玉・阪堂千津子、白水社)							

参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編 (hana 編集部、HANA)
補足事項	レポートは2回提出します。

科目名	応用韓国語		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	EAC3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	異文化体験やコミュニケーションを積極的に取りながら実践的な韓国語学びます。映像を通して最近のトレンドファッションや化粧スタイルなど、若い人が使っている用語を学び、異文化を体験します。感染症に気を付けながら、リトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などを見学しながらハングルの文字を身近に体験します。							
到達目標	1. ハングルの文字に親しみ、自然に読み書きができる。 2. 日常会話がスムーズにできる。 3. 動詞や形容詞の基本形を活用し、丁寧な表現文書を書くことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1, 3, 4）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス（前学期の振り返り）	予習	丁寧な表現についてテキストを読んで置くこと（p30～p36）			
				復習	指示代名詞を覚えて置く。			
	第2回	内容	位置や方向を現す言葉について学ぼう	予習	テキスト p 42 を確認して置くこと			
				復習	位置を表す言葉や方向を現す言葉を覚えておこう。			
	第3回	内容	数詞について学ぼう－「漢数詞」	予習	テキスト p 56～ p 58 を読んで置くこと			
				復習	電話番号やカレンダーの読み方を覚えよう。			
	第4回	内容	数詞について学ぼう－「固有数詞」	予習	テキスト p 56～ p 58 を読んで置くこと			
				復習	モノの数え方や単位、時計の読み方を覚えよう。			
	第5回	内容	要求形の尊敬語の作り方を学ぼう	予習	テキスト p 49 を読んで置くこと			
				復習	パッチムがある時とない時の違いを覚えよう。			
	第6回	内容	助詞や疑問詞について学ぼう	予習	テキスト p50 を覚えて置くこと			
				復習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む（陽性母音・陰性母音を覚えよう。）			
	第7回	内容	ちとけた表現－パッチムない時	予習	テキスト p53 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p53 の単語を覚えよう。			
	第8回	内容	うちとけた表現－パッチムがある時	予習	テキスト p54 を読んで置くこと			
				復習	母音や終子音の不規則変則を理解して置く。			
	第9回	内容	日曜日は何をしますか。	予習	テキスト p51 を読んで置くこと			
				復習	テキストの p58 の曜日を覚えよう。			
	第10回	内容	週末には何をしましたか。一過ぎたことを表現する時－	予習	テキスト p65 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p 67 の単語を覚えて置くこと			
	第11回	内容	過去形の作り方－パッチムがある時とない時の作り方について	予習	テキスト p 67 を読んで置くこと			
				復習	テキスト p70 を過去形に直して読んでみる。			
	第12回	内容	韓国ドラマの特徴や文化について調べてみよう。「生活でよく使う言葉を学ぶ」	予習	韓国のドラマについて調べて置くこと			
				復習	韓国ドラマから見えてくる家族関係について考えてみる			
	第13回	内容	韓国の YouTube やドラマで現れるファッションや若い人の言葉について学ぼう	予習	韓国ドラマのトレンドについて調べて置く			
				復習	日常的によく使う言葉を覚えて置く。			
	第14回	内容	韓国の人気歌謡を選び、聞き取り練習をする。（歌詞を翻訳する）	予習	事前に選曲した歌の歌詞を読んで置く。			
				復習	単語を覚えて置く。（丁寧な表現に活用する）			
	第15回	内容	まとめ－丁寧な表現や過去形を振り返る	予習	うちとけた表現、過去形の作り方を確認して置く。			
				復習	基本文法を活用して手紙を書いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や小テストはチェックして返却します。必ず確認し、チェックした部分は繰り返し復習してください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【小テスト＋積極的授業参加】（40%）							
教科書	『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉・阪堂千津子、百水社）							

参考文献	書いて覚える韓国語単語 入門編 (hana 編集部、HANA)
補足事項	さらに授業中に参考資料を配布します。ファイリングをして毎回持参してください。

科目名	ファッション文化論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子
ナンバリングコード	FAS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	舞台衣装はかつて、各種の演劇やコンサートなどで使用される特別な衣装と考えられてきたが、現在では舞台衣装の一般ファッションへの影響や、時代風潮の舞台衣装への影響が補完関係になりつつある。本授業は文化としての舞台衣装の特徴と推移を考察し、明らかにすることを目的とする。							
到達目標	1. ファッション文化に対して理解している。 2. 舞台衣装とファッションの関連について理解している。 3. 日本の伝統文化と現代文化に対する理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1)							
授業計画	第1回	内容	授業の説明(ガイダンス)	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	文化としての舞台(ステージ)衣装	予習	舞台衣装について調べる			
				復習	文化と舞台衣装の関係を理解する			
	第3回	内容	演歌歌手の舞台衣装1(着物)の歴史と現在	予習	演歌歌手の着物について調べておく			
				復習	着物の魅力を理解する			
	第4回	内容	演歌歌手の舞台衣装2(洋服)の歴史と現在	予習	演歌歌手の洋服を調べておく			
				復習	日本の歌と衣装の変遷を理解する			
	第5回	内容	男性演歌歌手の舞台衣装	予習	男性演歌歌手の舞台衣装を調べておく			
				復習	男性演歌歌手の舞台衣装の魅力を理解する			
	第6回	内容	クラシックからラップまでのダンス衣装	予習	ダンス衣装について調べておく			
				復習	ダンス衣装について理解する			
	第7回	内容	舞台衣装と歌	予習	舞台衣装と歌との関連を調べておく			
				復習	衣装と舞台効果の関係を理解する			
	第8回	内容	舞台衣装とドラマ	予習	ドラマで印象的だった衣装を調べておく			
				復習	出演者と衣装の関連を理解する			
	第9回	内容	舞台衣装のプロデュース	予習	プロデュースとは何かを調べる			
				復習	プロデューサーの役割を理解する			
	第10回	内容	舞台衣装のコーディネーター	予習	好みのコーディネーターを調べておく			
				復習	コーディネーターについて理解する			
	第11回	内容	舞台衣装とカラーリング	予習	カラーリングについて調べておく			
				復習	カラーリングについて理解する			
	第12回	内容	舞台衣装の一般ファッションへの影響	予習	一般人への影響事例を調べておく			
				復習	一般ファッションへの影響力を理解する			
	第13回	内容	舞台衣装の多様化	予習	ファッションの多様性を調べておく			
				復習	舞台衣装にも多様性があることを理解する			
	第14回	内容	舞台衣装と時代背景	予習	舞台衣装と時代背景について調べておく			
				復習	舞台衣装と時代背景の関連性を理解する			
	第15回	内容	振り返り	予習	プリント、ノートを整理しておく			
				復習	これまでの内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後クラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30%)、作品・発表 (30%)、授業態度【積極的参加、出席状況】(40%)							
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
補足事項								

科目名	イベント・プランニング	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	FAS3212	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	オリンピック、サッカーW杯といった国際大会、万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などだ。イベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目される観光を中心にイベントについて企画の立て方やPRの具体的手法などを学ぶ。						
到達目標	1. 立案から開催までイベント成功手法について理解し、説明できる 2. 身近なイベントについて企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2.3)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと	復習	授業の狙いと意義について理解する
	第2回	内容	イベント開催の狙いと種類、嵐のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく	復習	嵐のツアーの効果について理解する
	第3回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどの背景	予習	観光振興とイベントの関係性を調べておく	復習	具体的事例をもとに観光イベントを理解する
	第4回	内容	観光業の実態。集客の切り札としてのイベント	予習	観光業の実態について調べておく	復習	観光関連イベントの重要性を理解する
	第5回	内容	ファンツーリズムとイベント 嵐、韓流ドラマの影響	予習	ファンツーリズムについて調べておく	復習	ファンツーリズムの実態を理解する
	第6回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニング	予習	ロケ誘致について調べおく	復習	ロケ誘致がいかに効果であるかを理解する
	第7回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致	予習	国際的イベントについて調べておく	復習	国際的イベントの効果について理解する
	第8回	内容	7回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する
	第9回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく	復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する
	第10回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する
	第11回	内容	インバウンド向けイベント・プランニング	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく	復習	上記イベントの成功の理由を理解する
	第12回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画	予習	交通機関のイベントについて調べておく	復習	交通機関のイベント企画を理解する
	第13回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく	復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する
	第14回	内容	イベントの課題、集客失敗と地元への影響(ゴミ、渋滞)	予習	イベントの課題について調べておく	復習	課題解決について考え、理解する
	第15回	内容	14回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく	復習	プレゼンをもとに問題点を検討する
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授Googleクラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(40%)、作品・発表(30%)、授業態度【積極的発言、出席状況】(30%)						
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する。関連ウェブサイトを紹介する。						
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド70年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会						
補足事項	課題作文(200字以上)は社会人になっても文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。						

科目名	カラーコーディネート	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	FAS3222	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	実社会における様々な分野で活躍する「カラーコーディネーター」について、色彩に関する専門知識を身に付け、色彩検定の資格取得を目指し、どのような職種においてもクリエイティブな仕事に対応できる技術能力を身につける。						
到達目標	1. 文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2. 文部科学省認定の色彩検定2級の資格取得のための予備知識の習得の能力がついている。 3. 実習課題の制作提出がされている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、3 ）						
授業計画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）A課題配布	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる		
				復習	配布された資料を熟読し理解を深める		
	第2回	内容	基本講習1（色のはたらき・光と色Ⅰ）	予習	次回講習1項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-1課題を仕上げる		
	第3回	内容	基本講習2（光と色Ⅱ）	予習	次回講習2項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-2課題を仕上げる		
	第4回	内容	基本講習3（色の表示）	予習	次回講習3項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-3課題を仕上げる		
	第5回	内容	基本講習4（色彩心理）	予習	次回講習4項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-4課題を仕上げる		
	第6回	内容	基本講習5（配色調和）	予習	次回講習5項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-5課題を仕上げる		
	第7回	内容	基本講習6（配色イメージ）	予習	次回講習6項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-6課題を仕上げる		
	第8回	内容	基本講習7（ファッション）	予習	次回講習7項目について教科書を熟読する		
				復習	出題されたA-7課題を仕上げる		
第9回	内容	基本講習8（インテリア）	予習	次回講習8項目について教科書を熟読する			
			復習	出題されたA-8課題を仕上げる			
第10回	内容	基本講習9（慣用色名・ユニバーサルデザイン）	予習	次回講習9項目について教科書を熟読する			
			復習	出題されたA-9課題を仕上げる			
第11回	内容	課題制作1（B課題のプランニング・制作準備）	予習	配布された課題Bの配色案をまとめる			
			復習	課題Bの制作プランシートを仕上げる			
第12回	内容	課題制作2（B課題制作実習）	予習	課題Bのプランに基づき素材を準備する			
			復習	課題B作品の写真を提出する			
第13回	内容	色彩検定対策講習Ⅰ（模擬試験）	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する			
			復習	模擬試験結果を自己採点し弱点を把握する			
第14回	内容	色彩検定対策講習Ⅱ	予習	3級と2級の違いを理解しておく			
			復習	本試験に向けて不明点を確認しておく			
第15回	内容	総評・まとめ	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
			復習	本試験に向けて2・3級の要点を整理する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	完成し提出した課題を添削し、個々にその仕上がりについて面談でコメントする併せてGoogle Classroomを用いてフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、授業態度【静粛実直】（10%）						
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』（2020年改訂版）公益社団法人 色彩検定協会、及び『新配色カード199a』（日本色研事業株式会社）						
参考文献	『インターネット』により参考資料各種						
補足事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入する事を推奨する。						

科目名	Webデザイン		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3211		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	Webを活用した情報発信（プロモーションやマーケティングなど）は、ビジネスのみならず個人においても増えている。この講義ではWebページを制作するためのHTML（ページ構造）とCSS（スタイルデザインの定義）を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Webデザインの基礎知識と技術を身につけていく。							
到達目標	1. HTMLを理解して、Webページを作成できる 2. CSSを理解して、Webページにデザインを施すことができる 3. HTMLとCSSを駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	Webデザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Webページ制作の流れ	予習	Webページとは何か調べる			
				復習	Webページ制作の手順をまとめる			
	第3回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し	予習	HTMLについて調べる			
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する			
	第4回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える			
				復習	ファイル参照を理解する			
	第5回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる			
				復習	tableタグを整理しておく			
	第6回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる			
				復習	課題HTML部分を完成させる			
	第7回	内容	CSS① HTMLとのリンク	予習	HTMLとCSSの関連性を調べる			
				復習	HTMLとCSS作成手順を整理する			
	第8回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS記述方法を確認しておく			
				復習	CSS記述方法を理解する			
第9回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	paddingタグとmarginタグの違いを調べる				
			復習	paddingタグとmarginタグを理解する				
第10回	内容	CSS④ HTMLのグループ化・配置	予習	divタグについて調べる				
			復習	idとclassの違いを理解する				
第11回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく				
			復習	課題CSS部分を完成させる				
第12回	内容	ページレイアウト	予習	idとclassの必要性を考える				
			復習	ページレイアウトの仕方を整理する				
第13回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる				
			復習	インラインフレームについてまとめる				
第14回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる				
			復習	課題全ページを完成させる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	HTMLとCSSについてまとめる				
			復習	HTMLとCSSを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業内で具体的に内容を示し解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、実技（60%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	『情報演習35 ステップ30 HTML5 & CSS3 ワークブック 第2版』（相澤裕介、カットシステム）							
参考文献	『作りながら学ぶHTML/CSSデザインの教科書』（高橋 朋代、SBクリエイティブ）							
補足事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。							

科目名	マルチメディア演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	WED3212		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	GIMPを用いた画像処理、Live2Dを用いたアニメーション制作、ミノ式MIDIシーケンサを用いた音楽制作、VRoid Studioと3teneを用いた3DCG制作、を通して、マルチメディアの制作を総合的に学びます。							
到達目標	1. 画像処理の基本的な操作ができる。 2. アニメーション制作のスキルを身につけている。 3. 3DCGの基本的な操作ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	画像処理① GIMPの操作、写真の加工・修整			予習	GIMPについて調べる	
					復習	GIMPの操作を復習する		
	第3回	内容	画像処理② キャラクターの作成			予習	レイヤーについて調べる	
					復習	レイヤーの操作を復習する		
	第4回	内容	画像処理③ キャラクターの作成			予習	作品について考える	
					復習	作品の制作を振り返る		
	第5回	内容	アニメーション制作① Live2Dの操作			予習	Live2Dについて調べる	
					復習	Live2Dの操作を復習する		
	第6回	内容	アニメーション制作② Live2Dのアニメーション			予習	アニメーションについて調べる	
					復習	Live2Dの操作を復習する		
	第7回	内容	アニメーション制作③ Live2Dの作品制作			予習	作品について考える	
					復習	アニメーションの操作を復習する		
	第8回	内容	アニメーション制作④ Live2Dの作品制作 制作物の発表			予習	作品について考える	
					復習	作品の制作を振り返る		
第9回	内容	音楽制作① ミノ式MIDIシーケンサの操作、練習曲制作			予習	MIDIについて調べる		
				復習	ミノ式MIDIシーケンサの操作を復習する			
第10回	内容	音楽制作② 作品制作・ドラム譜			予習	ドラム譜について調べる		
				復習	音符の入力の仕方を復習する			
第11回	内容	音楽制作③ 作品制作			予習	楽譜を理解する		
				復習	作品の制作を振り返る			
第12回	内容	3D① VRoid Studioの操作			予習	3D制作ソフトについて調べる		
				復習	VRoid Studioの操作を復習する			
第13回	内容	3D② 3Dキャラクターの作成			予習	3Dキャラクター構想を考える		
				復習	キャラクター作成操作を復習する			
第14回	内容	3D③ 3Dキャラクターの作成とアニメーション			予習	アニメーション操作について調べる		
				復習	3teneの操作を復習する			
第15回	内容	3D④ 3Dキャラクターのアニメーション・まとめ			予習	これまで作成した課題を確認する		
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	文書処理演習		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	INS3212		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	MOS (マイクロソフトオフィススペシャリスト) のワード試験の合格を念頭に置き、基礎からしっかり身に付けていく。文書作成ソフトのワードの操作、特に MOS 試験の出題範囲である「文書の管理」、「文字、段落、セクションの挿入と書式設定」、「表やリストの管理」、「参考資料の作成と管理」、「グラフィック要素の挿入と書式設定」、「文書の共同作業の管理」について学ぶ。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOS のワード試験に合格できるスキルを身につけることを目指す。							
到達目標	1. ワードの操作ができる。 2. 見栄えの良い文書が作成できる。 3. 社会生活において困らない文書作成スキルを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	ワードの操作① 文書の管理	予習	文書の作成について調べる			
				復習	文書の作成について復習する			
	第3回	内容	ワードの操作② 文書の管理	予習	文書の管理について調べる			
				復習	文書の管理について復習する			
	第4回	内容	ワードの操作③ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	文字、段落について調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第5回	内容	ワードの操作④ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	セクションについて調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第6回	内容	ワードの操作⑤ 表やリストの管理	予習	表について調べる			
				復習	表の作成について復習する			
	第7回	内容	ワードの操作⑥ 表やリストの管理	予習	リストについて調べる			
				復習	リストの作成について復習する			
	第8回	内容	ワードの操作⑦ 参考資料の作成と管理	予習	参考資料について調べる			
				復習	参考資料の作成について復習する			
第9回	内容	ワードの操作⑧ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素について調べる				
			復習	グラフィック要素の挿入について復習する				
第10回	内容	ワードの操作⑨ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素の書式設定について調べる				
			復習	グラフィック要素の書式設定について復習する				
第11回	内容	ワードの操作⑩ 文書の共同作業の管理	予習	文書の共同作業の管理について調べる				
			復習	文書の共同作業の管理について復習する				
第12回	内容	MOS ワードの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
			復習	模擬試験を復習する				
第13回	内容	MOS ワードの模擬試験②	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第14回	内容	MOS ワードの模擬試験③	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
第15回	内容	MOS ワードの模擬試験④	予習	ワードの機能を確認する				
			復習	模擬試験を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法：レポート・課題 (10 %)、実技 (60 %)、【積極的参加】 (30 %)							
教科書	『MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集 (よくわかるマスター)』(富士通エフ・オー・エム、FOM 出版)							
参考文献	なし							
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用するため、指定の書名、バージョンを確認して準備してほしい。							

科目名	動画編集		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3213		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	動画の撮影、動画のパソコンへの取り込み、テロップの挿入、音楽の挿入、簡単なモーショングラフィックスなどといった動画編集の基本的操作を学び、動画作品を制作します。複数人で協力して撮影するグループワークも行ないます。							
到達目標	1. 動画編集の基本操作が身についている。 2. 簡単なモーショングラフィックスを利用することができる。 3. テロップの入った簡単な動画を作成することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	AviUtlの基本操作	予習	動画編集の基礎を調べる			
				復習	AviUtlの基本操作を復習する			
	第3回	内容	AviUtlによる動画編集	予習	AviUtlの機能について調べる			
				復習	AviUtlの操作を復習する			
	第4回	内容	動画のカット編集	予習	カット編集について調べる			
				復習	カット編集の操作を復習する			
	第5回	内容	動画の撮影：所沢航空記念公園にて（グループワーク）	予習	所沢航空記念公園について調べる			
				復習	撮影した動画を確認する			
	第6回	内容	動画のパソコンへの取り込み・素材集め	予習	取り込み方法を調べる			
				復習	取り込み方法を復習する			
	第7回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	作成中の動画を振り返る			
	第8回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	作品の制作を振り返る			
第9回	内容	動画の閲覧会、動画の撮影：大学にて（グループワーク）	予習	撮影する場所を考える				
			復習	撮影した動画を確認する				
第10回	内容	モーショングラフィックス	予習	モーショングラフィックスについて調べる				
			復習	モーショングラフィックスの操作を復習する				
第11回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	ソフトウェアの操作を復習する				
第12回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	ソフトウェアの操作を復習する				
第13回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える				
			復習	作品の制作を振り返る				
第14回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
第15回	内容	優秀作品の発表会	予習	これまで作成した課題を確認する				
			復習	これまで作成した課題を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	動画創作		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナバリンクコード	INS3223		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	「動画創作」は「動画編集」の授業で学んだスキルを元に授業を進めます。この授業を受講する前に「動画編集」の授業を履修することをおすすめします。この授業では2つの動画を制作します。1つ目は、モーショングラフィックスなどを学び、キャラクターが動くVTuber系動画を制作します。2つ目は、音楽とイラストなどを作成し、Music Videoを制作します。							
到達目標	1. 自分自身で構成を考え、動画を作成できる。 2. キャラクターを利用した動画が作成できる。 3. モーショングラフィックスを利用した動画が作成できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	動画編集の復習	予習	動画編集ソフトについて調べる			
				復習	カット編集を復習する			
	第3回	内容	VTuber系動画のキャラクター作成	予習	3Dキャラクターについて調べる			
				復習	キャラクターの作り方を復習する			
	第4回	内容	VTuber系動画作成の練習	予習	合成音声について調べる			
				復習	キャラクターの動きのつけ方を復習する			
	第5回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第6回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第7回	内容	VTuber系動画の作成	予習	動画の構成を考える			
				復習	制作物を振り返る			
	第8回	内容	カメラ制御	予習	カメラ制御について調べる			
				復習	カメラ制御の操作方法を復習する			
第9回	内容	文字アニメーション	予習	文字のアニメーションについて調べる				
			復習	文字アニメの操作方法を復習する				
第10回	内容	Music Video制作	予習	音楽を考える				
			復習	動画の構成をまとめる				
第11回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第12回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第13回	内容	Music Video制作	予習	動画の構成を考える				
			復習	制作物を振り返る				
第14回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
第15回	内容	優秀作品の発表会	予習	作品を振り返る				
			復習	閲覧した作品を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科目名	e スポーツ	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナバリンコート*	INS3214	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	e スポーツとはコンピュータゲームの対戦競技のことであり、チームワークやリーダーシップなどといったコミュニケーション能力、情報処理能力や問題解決力などを身につけることができると期待され、現在様々な分野での活用が進められている。本授業では、e スポーツに関する知識、e スポーツの企画・運営について学び、さらにe スポーツを通してコミュニケーション能力向上を目指します。						
到達目標	1. e スポーツに関する事柄や効果について説明できる。 2. 他者と協同してe スポーツを企画・運営できる。 3. 自らが踏み出して他者と会話ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3 4)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	e スポーツの種類	予習	e スポーツについて調べる		
				復習	e スポーツの種類について復習する		
	第3回	内容	e スポーツの歴史	予習	e スポーツの歴史について調べる		
				復習	e スポーツの歴史について復習する		
	第4回	内容	e スポーツの効果	予習	e スポーツの活用について調べる		
				復習	e スポーツの効果について復習する		
	第5回	内容	e スポーツの体験	予習	e スポーツのソフトについて調べる		
				復習	e スポーツの体験を振り返る		
	第6回	内容	e スポーツビジネス	予習	e スポーツビジネスについて調べる		
				復習	e スポーツビジネスについて復習する		
	第7回	内容	e スポーツの企画(グループワーク)	予習	e スポーツの方法について調べる		
				復習	e スポーツの企画について復習する		
	第8回	内容	e スポーツの企画(グループワーク)	予習	e スポーツの方法について調べる		
				復習	e スポーツの企画について復習する		
第9回	内容	e スポーツの機材と使い方	予習	e スポーツの機材について調べる			
			復習	e スポーツの機材や使い方について復習する			
第10回	内容	e スポーツの運営・実践(グループワーク)	予習	e スポーツの運営について調べる			
			復習	e スポーツの運営について振り返る			
第11回	内容	e スポーツの運営・実践(グループワーク)	予習	e スポーツの運営について調べる			
			復習	e スポーツの運営について振り返る			
第12回	内容	e スポーツの運営・実践(グループワーク)	予習	e スポーツの運営について調べる			
			復習	e スポーツの運営について振り返る			
第13回	内容	e スポーツの運営・実践(グループワーク)	予習	e スポーツの運営について調べる			
			復習	e スポーツの運営について振り返る			
第14回	内容	e スポーツ分野の将来	予習	e スポーツの将来について調べる			
			復習	e スポーツの将来について復習する			
第15回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する			
			復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/()しない 成績評価の方法： レポート・課題(50 %)、授業態度【積極的参加】(50 %)						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項	状況により授業内容が変更になる可能性があります。						

科目名	簿記と会計	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ナンバリングコード	MEA3211	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	(対面)・遠隔・その他()						
授業の内容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。						
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(3)						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	ノートを確認しておくこと		
	第2回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益計算書について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる		
				復習	簿記の五つの要素についてまとめ		
	第3回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる		
				復習	取引の記帳についてまとめ		
	第4回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく		
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめ。		
	第5回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる		
				復習	決算の意味・手続きをまとめ		
	第6回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる		
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめ		
	第7回	内容	商品売買の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる		
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめ		
	第8回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる		
				復習	三分法で処理する意義をまとめ		
第9回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる			
			復習	各種記入帳をまとめ			
第10回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる			
			復習	取得と売却についてまとめ			
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる			
			復習	債権・債務についてまとめ			
第12回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる			
			復習	取得・売却、台帳についてまとめ			
第13回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる			
			復習	個人企業の取引についてまとめ			
第14回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる			
			復習	精算表作成出来るようにする			
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる			
			復習	企業の決算についてまとめ			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題(20%)、授業態度【積極的取組】(20%)						
教科書	最新段階式 日商簿記検定問題集 3級 四訂版 実教出版						
参考文献							
補足事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具(赤ペン)、定規の5点セットを忘れないでください。						

科目名	簿記演習	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かしまた ひろゆき 柏俣 廣行
ンパリングコード	MEA3221	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。						
到達目標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情を常に計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる		
				復習	ノートを確認しておくこと		
	第2回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる		
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる		
	第3回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる		
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる		
	第4回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる		
				復習	手形取引についてまとめる		
	第5回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる		
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる		
	第6回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる		
				復習	購入・売却についてまとめる		
	第7回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて		
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる		
	第8回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる		
				復習	税金の処理についてまとめる		
第9回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる			
			復習	各種記入帳をまとめる			
第10回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる			
			復習	取得と売却についてまとめる			
第11回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる			
			復習	債権・債務についてまとめる			
第12回	内容	従業員の所得税（源泉徴収）、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる			
			復習	各種税の処理についてまとめる			
第13回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる			
			復習	本支店の取引についてまとめる			
第14回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる			
			復習	8桁精算表作成出来るようにする			
第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる			
			復習	企業の決算についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的取組】（20%）						
教科書	日商簿記検定模擬試験問題集 2024版 3級 実教出版						
参考文献							
補足事項	前期「簿記と会計」選択者を前提に、問題集を進めていきます。						

科目名	医療秘書実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たてやま ともひろ 館山 友宏
ナンバリングコード	MEA3212		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	医療秘書に求められる資格要件は、常に患者様の心理を理解し、すべての行為について患者様への医療サービスを念頭に置かなければならない。事務職員として一般的な事務能力、医学に関する知識のみならず医療事務の倫理的知識、医療機関における役割への理解等が求められる。本講義では、疾病・患者様・家族環境等を理解し、あらゆる面からの情報をとらえる専門知識を学ぶ。						
到達目標	1. 医療秘書としてふさわしい素養、接遇対応を身につけ、医療機関という特殊な場所での仕事について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1.2.3.4）						
授業計画	第1回	内容	医療と社会	予習			
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第2回	内容	医療倫理（医療機関）	予習	メディカルシステム論 P5 に目を通す		
				復習	医療倫理を中心に再度確認すること		
	第3回	内容	医療倫理（職員）	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療職員倫理等を再度確認すること		
	第4回	内容	患者の心理	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	患者の心理を良く理解すること		
	第5回	内容	医療従事者に求められる要件	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療従事者として求められていること等を再度確認すること		
	第6回	内容	接遇マナー1（立ち居振る舞い）	予習	医療の接遇 P32～39 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第7回	内容	接遇マナー2（言葉遣い）	予習	医療の接遇 P40～49 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第8回	内容	接遇マナー3（身だしなみ）	予習	医療の接遇 P24～27 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
第9回	内容	接遇マナー4（挨拶・表情）	予習	医療の接遇 P28～31 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第10回	内容	接遇マナー5（電話対応）	予習	医療の接遇 P50～61 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第11回	内容	医学と医療の目的・日本の近代医療	予習	メディカルシステム論 11 ページに目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第12回	内容	医療機関・組織の役割	予習	メディカルシステム論 P15～16 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の役割」等について、学習内容を再度確認すること			
第13回	内容	医療機関・組織の運営1	予習	メディカルシステム論 P11～14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第14回	内容	医療機関・組織の運営2	予習	メディカルシステム論 P11～14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第15回	内容	「医療秘書実務」総まとめ	予習	これまでの学習内容全体に目を通すこと			
			復習	学習した内容全般を振り返り、理解不足の箇所等につき、再度確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業に関する理解度確認の為の「小テスト」（理解度テスト）を実施した際には、当該テストを通じて授業内容の習熟度につき、各学生へのフィードバックを適宜、行うこととする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出状況】（30%）						
教科書	『メディカルシステム論』（著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会） 『医療の接遇』（著者名 医療タイムス社・教育研修事業部編、出版社名 医療タイムス社）						
参考文献	なし						
注意事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。						

科目名	Javaプログラミング		単位数	4	授業時間数	60	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	PRO3221		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他()							
授業の内容	Java 言語の基本的な使い方からブロック崩しのゲーム作成まで、練習問題と課題問題を通して学び、プログラミングの基本的スキルを身につけることを目指します。ICT を用いた双方向アンケートなどを活用し、質問に対するフィードバックを行いません。							
到達目標	1. プログラミングの基本的スキルを身につけている。 2. プログラミングの文法を理解している。 3. Java 言語について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	Eclipse の基本操作	予習	Eclipse について調べる			
				復習	Eclipse の操作について復習する			
	第3回	内容	変数	予習	変数について調べる			
				復習	変数の扱いについて復習する			
	第4回	内容	キーボード入力	予習	キーボード入力について調べる			
				復習	キーボード入力の仕方について復習する			
	第5回	内容	演算子	予習	演算子について調べる			
				復習	演算子の扱いについて復習する			
	第6回	内容	条件文① if 文	予習	if 文について調べる			
				復習	if 文の使い方について復習する			
	第7回	内容	条件文② 論理演算子	予習	論理演算子について調べる			
				復習	if 文での論理演算子の扱いについて復習する			
	第8回	内容	条件文③ switch 文	予習	switch 文について調べる			
				復習	switch 文の使い方について復習する			
	第9回	内容	復習問題	予習	これまでの演習について確認する			
				復習	復習演習の問題について復習する			
	第10回	内容	繰り返し文① for 文	予習	for 文について調べる			
				復習	for 文の使い方について復習する			
	第11回	内容	繰り返し文② while 文	予習	while 文について調べる			
復習				while 文の使い方について復習する				
第12回	内容	繰り返し文③ do-while 文	予習	do-while 文について調べる				
			復習	do-while 文の使い方について復習する				
第13回	内容	繰り返し文④ 総合	予習	for 文の応用的使い方について調べる				
			復習	for 文の応用について復習する				
第14回	内容	配列①	予習	配列について調べる				
			復習	配列の使い方について復習する				
第15回	内容	配列②・小テスト	予習	2次元配列について調べる				
			復習	小テストについて振り返る				
第16回	内容	復習問題	予習	これまでの演習について確認する				
			復習	復習演習の問題について復習する				
第17回	内容	文字列の操作	予習	文字列の操作について調べる				
			復習	文字列の操作について復習する				
第18回	内容	数学関数	予習	数学関数について調べる				
			復習	数学関数の使い方について復習する				
第19回	内容	計算の演習	予習	計算方法について調べる				
			復習	計算方法の活用について復習する				
第20回	内容	文字列操作の演習	予習	文字列操作について調べる				
			復習	文字列操作の演習について復習する				
第21回	内容	並び替えの演習	予習	並び替えについて調べる				
			復習	並び替えの方法について復習する				

	第 22 回	内容	クラス①	予習	メソッドについて調べる
				復習	フィールドについて復習する
	第 23 回	内容	クラス②	予習	コンストラクタについて調べる
				復習	継承について復習する
	第 24 回	内容	クラス③	予習	オーバーライドについて調べる
				復習	インターフェースについて復習する
	第 25 回	内容	復習問題	予習	これまでの演習について確認する
				復習	復習演習の問題について復習する
	第 26 回	内容	小テスト・ブロック崩し① ボールとバーの動作	予習	ブロック崩しについて調べる
				復習	テストについて振り返る
	第 27 回	内容	ブロック崩し② ボールとバーの動作の続き	予習	ボールの動きについて調べる
				復習	ボールとバーの動作について復習する
	第 28 回	内容	ブロック崩し③ バーとブロックの処理	予習	ブロックの配置について調べる
				復習	ブロックの処理について復習する
	第 29 回	内容	ブロック崩し④ その他の処理	予習	点数の付け方について調べる
				復習	点数などの処理について復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）、小テスト（40%）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。				

科目名	ITテクノロジー概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナバリンクコード	PRO3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	仕事に役立つITや経営に関する知識を幅広く身につけます。また、国家試験（ITパスポート）取得も意識した授業展開を行います。ITパスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的なIT知識の証明ができる国家資格です。この資格はIT技術の知識だけでなく、経営全般やIT管理の知識も問われ、多くの企業で新卒採用活動や社員研修で資格取得を課しています。本授業は、ITパスポートの中の「テクノロジー系」の内容を扱います。これからの社会に適応できる技術的な知識を身につけ、理解して、利活用できる力を養うことを目指します。							
到達目標	1. コンピュータ用語やIT知識（テクノロジー系）を身につける。 2. ITを利用・活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	テクノロジーの基礎知識	予習	テクノロジーの全体像を把握する			
				復習	アナログとデジタルの復習をする			
	第3回	内容	ハードウェア	予習	五大装置について調べる			
				復習	コンピュータの構成について復習する			
	第4回	内容	ソフトウェア	予習	ファイルとディレクトリについて調べる			
				復習	ファイル管理について復習する			
	第5回	内容	ネットワーク	予習	IPアドレス、プロトコルについて調べる			
				復習	通信プロトコルについて復習する			
	第6回	内容	コンピュータとデジタル情報	予習	二進数について調べる			
				復習	基数変換について復習する			
	第7回	内容	プログラムとアルゴリズム1	予習	コンピュータ言語について調べる			
				復習	アルゴリズムについて復習する			
	第8回	内容	プログラムとアルゴリズム2	予習	プログラミングについて調べる			
				復習	変数と配列について復習する			
第9回	内容	コンピュータシステム	予習	クラウドについて調べる				
			復習	稼働率について復習する				
第10回	内容	企業レベルの情報セキュリティ	予習	暗号化について調べる				
			復習	企業におけるセキュリティ対策を復習する				
第11回	内容	個人レベルの情報セキュリティ	予習	個人情報、著作権について調べる				
			復習	個人におけるセキュリティ対策を復習する				
第12回	内容	AI	予習	AIについて調べる				
			復習	AIについて復習する				
第13回	内容	データサイエンス	予習	データ分析、ビッグデータについて調べる				
			復習	データ分析について復習する				
第14回	内容	まとめ課題1	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
第15回	内容	まとめ課題2	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、小テスト（40%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『[令和6年度] ITパスポート 超効率の教科書+よく出る問題集』（渡辺さき、インプレス）							
参考文献	なし							
補足事項								

科目名	ITストラテジ概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	PRO3212		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	仕事に役立つITや経営に関する知識を幅広く身につけます。また、国家試験（ITパスポート）取得も意識した授業展開を行います。ITパスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的なIT知識の証明ができる国家資格です。この資格はIT技術の知識だけでなく、経営全般やIT管理の知識も問われ、多くの企業で新卒採用活動や社員研修で資格取得を課しています。本授業は、ITパスポートの中の「ストラテジ系」「マネジメント系」の内容を扱います。ニュースで耳にする言葉や企業のIT経営戦略など幅広い知識を身につけます。							
到達目標	1. 経営・ビジネスにおけるIT知識（テクノロジ系・マネジメント系）を身につける。 2. ITを利用・活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	ストラテジの基礎知識	予習	ストラテジの全体像を把握する			
				復習	資源、資産、資本の違いを復習する			
	第3回	内容	企業活動1	予習	特性要因図を調べる			
				復習	分析手法について復習する			
	第4回	内容	企業活動2	予習	コンプライアンスについて調べる			
				復習	企業の社会的役割について復習する			
	第5回	内容	マーケティング	予習	Cookieについて調べる			
				復習	デジタルマーケティングについて復習する			
	第6回	内容	関連法規1	予習	個人情報について調べる			
				復習	情報セキュリティについて復習する			
	第7回	内容	関連法規2	予習	派遣契約について調べる			
				復習	労働・雇用関連法規について復習する			
	第8回	内容	企業会計	予習	損益分岐点について調べる			
				復習	企業会計用語について復習する			
第9回	内容	技術開発戦略	予習	金融や製造業のIT活用について調べる				
			復習	ビジネスのIT活用について復習する				
第10回	内容	システム戦略	予習	IoT、AIについて調べる				
			復習	企業活動とITについてまとめる				
第11回	内容	マネジメントの基礎知識	予習	システム開発の流れを調べる				
			復習	システム開発の流れを復習する				
第12回	内容	システム企画・開発	予習	ユーザインターフェイスについて調べる				
			復習	システムの稼働率について復習する				
第13回	内容	システム運用・保守	予習	スケジュール管理について調べる				
			復習	システム監査について復習する				
第14回	内容	まとめ課題1	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
第15回	内容	まとめ課題2	予習	全範囲の内容を整理しておく				
			復習	全範囲の内容を復習する				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、小テスト（40%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『[令和6年度] ITパスポート 超効率の教科書+よく出る問題集』（渡辺さき、インプレス）							
参考文献	なし							
補足事項								

科目名	風土と文化		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之
ナバリングコード	CUL3213		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	歴史・自然環境と文化との関係について学ぶ。特に「古都」の魅力について、みやこが大和（現在の奈良県）の明日香に置かれていた時代からの歴史をたどる。都という空間が現代に生きる私たちの感性に及ぼしているさまざまな影響について考察する。						
到達目標	1. 古都の歴史的展開と特性についての理解を深めている。 2. 歴史と風土の関わりについての理解を深めている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2）						
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～日本の世界遺産について	予習	日本国内の「世界遺産」について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第2回	内容	飛鳥のみやこ①	予習	飛鳥について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第3回	内容	飛鳥のみやこ②	予習	飛鳥の歴史と飛鳥を詠んだ和歌を調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第4回	内容	近江京と藤原京	予習	近江国の歴史と地理について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第5回	内容	藤原京から平城京へ	予習	遷都の歴史と藤原京について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第6回	内容	平城京の実態	予習	平城京の歴史と地理について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第7回	内容	平城京と社寺	予習	春日大社と興福寺について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第8回	内容	東大寺と正倉院	予習	聖武天皇と大仏建立について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第9回	内容	平城京から長岡京へ	予習	長岡京について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第10回	内容	怨霊と長岡京	予習	平安遷都前後の歴史を調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第11回	内容	平安遷都の真相	予習	御霊について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第12回	内容	平安京の社寺	予習	上賀茂下賀茂神社と東寺について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第13回	内容	境域の内と外	予習	京城と境について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第14回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	第15回	内容	平泉～北の「みやこ」	予習	平泉について調べる	復習	配布資料とメモをノートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【主体性】（30％）						
教科書	資料を配布する						
参考文献	必要に応じて指示する						
補足事項							

科目名	古典文学を読む		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 おいかわ みちゆき 及川 道之	
ナンバリングコード	CUL3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	8世紀初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読み進める。上巻には神々の世界が描かれており、その誕生から始まる様々な神の姿や国土の起源、多くの事象の由来などを語る日本神話について丁寧な解説を加え、相互に対話を重ねて読み解いていく。							
到達目標	1. 日本神話の実相についての理解を深めている。 2. 古事記神話を通じて日本文化の特性についての理解を深めている。 3. 主要な神の特徴について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1、2 ）							
授業計画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	日本の神話について調べる			
				復習	神話の特性と歴史についてノートにまとめる			
	第2回	内容	「序」を読む	予習	古事記の成立について調べる			
				復習	古事記編纂に至るまでの歴史的背景をノートにまとめる			
	第3回	内容	世界の始まり「天地初発の時」①	予習	疑問点を書き出しておく			
				復習	実際に声に出して読めるよう繰り返し練習する			
	第4回	内容	世界の始まり「天地初発の時」②	予習	疑問点を書き出しておく			
				復習	内容をノートにまとめる			
	第5回	内容	国土の成り立ち「大八島国の誕生」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「大八島国」についてノートにまとめる			
	第6回	内容	死の起源とあの世「黄泉国訪問」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「火の神」誕生の経緯をノートにまとめる			
	第7回	内容	最高神天照大御神の誕生「禊と三貴子」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	三貴神誕生の経緯をノートにまとめる			
	第8回	内容	アマテラスとスサノヲ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	「ウケヒ」から誕生した神をノートにまとめる			
	第9回	内容	アマテラスの岩屋戸籠り	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	神々が果たした役割をノートにまとめる			
	第10回	内容	八俣の大蛇と「八雲たつ出雲」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	スサノヲと出雲の関りをノートにまとめる			
	第11回	内容	オオクニヌシと因幡の白ウサギ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	大国主誕生までの経緯をノートにまとめる			
	第12回	内容	国譲りと出雲大社	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	出雲神話についてノートにまとめる			
	第13回	内容	天孫降臨と女神神コノ花のサクヤビメ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	天孫降臨の前後についてノートにまとめる			
	第14回	内容	海幸彦と山幸彦	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく			
				復習	神話と始祖伝承についてノートにまとめる			
	第15回	内容	授業の終わりにあたって	予習	古事記上巻の展開をノートにまとめる			
				復習	古事記上巻を声に出して読んで理解に努める			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【主体性】（30 %）							
教科書	資料を配布							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項								

科目名	生涯学習概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	LIS3221	授業形態	講義	実務経験				
授業方式	○対面・遠隔・その他()							
授業の内容	図書館、博物館、文書館等のMLA機関は、生涯学習を支援する社会教育機関である。本授業は、学習の支援者としての司書の役割を理解し、生涯学習の歴史、意義、理念、技法について講義を行う。また、講義の内容を踏まえて、生涯学習を支援する公的機関へ訪問し、実際の生涯学習支援について実地で学ぶ。							
到達目標	1. 生涯学習の意義、理念を理解している 2. 各発達段階における生涯学習の形式、内容を理解し、学習計画を立てることができる 3. 生涯学習において図書館、博物館、文書館が担う役割を理解し、説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(2、3、5) 文化表現学科(1、2、3、4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の内容と進め方について理解する			
	第2回	内容	生涯学習の定義と意義	予習	生涯学習と成人教育の違いを調べる			
				復習	生涯学習の意義を理解する			
	第3回	内容	生涯学習の理念と歴史	予習	リカレント教育について調べる			
				復習	生涯学習の理念の展開を理解する			
	第4回	内容	生涯教育に関連する法律	予習	生涯学習振興法を予読する			
				復習	社会教育と生涯学習の関連を理解する			
	第5回	内容	生涯の発達段階ごとの学習内容	予習	成人期における生涯学習の内容を調べる			
				復習	発達段階ごとの生涯学習の違いを理解する			
	第6回	内容	生涯学習を支援する機関、人々	予習	公民館の役割を調べる			
				復習	司書による生涯学習支援の意義をまとめる			
	第7回	内容	生涯学習における教育と計画	予習	生涯教育と生涯学習の違いを調べる			
				復習	社会教育活動について理解する			
	第8回	内容	生涯学習と情報リテラシ	予習	情報リテラシとは何か調べる			
				復習	情報化社会における生涯学習の展開を理解する			
第9回	内容	生涯学習の評価と成果の活用	予習	生涯学習における成果発表の機会を調べる				
			復習	生涯学習の評価法について理解する				
第10回	内容	生涯学習支援機関における支援①(グループワーク・実地学習)	予習	訪問先の支援事業について調べる				
			復習	実地学習の内容をまとめる				
第11回	内容	生涯学習支援機関における支援②(グループワーク・実地学習)	予習	訪問先の支援事業について調べる				
			復習	実地学習の内容をまとめる				
第12回	内容	生涯学習支援機関における支援③(グループワーク・実地学習)	予習	訪問先の支援事業について調べる				
			復習	実地学習の内容をまとめる				
第13回	内容	実地学習のまとめ(グループワーク)	予習	実地学習の内容をどのような形式でまとめるか考えておく				
			復習	成果物の作成を進める				
第14回	内容	実地学習のまとめ②(グループワーク)	予習	成果物の作成を進める				
			復習	成果物を作成し、提出する				
第15回	内容	これからの生涯学習支援の展望	予習	生涯学習についてのニュースを読む				
			復習	自身の生涯学習について計画を立ててみる				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学習内容をまとめた成果物の提出を課します。提出物に対してコメントを返却します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：レポート・課題(30%)、作品・発表(40%)、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	指定しません。授業資料を配布します							
参考文献	『司書・学芸員をめざす人への生涯学習概論』(大堀哲・編、樹村房) 『JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 別巻 図書館員のための生涯学習概論』(朝比奈大作、日本図書館協会) 『講座・図書館情報学1 生涯学習概論—知識基盤社会で学ぶ・学びを支える』(渡邊洋子、ミネルヴァ書房)							
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	図書館概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリングコード	LIS3211		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。							
到達目標	1. 図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2. 公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3. 社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(2、3、5) 文化表現学科(2、3、4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく			
				復習	本授業の内容と進め方を理解する			
	第2回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる			
				復習	図書館の館種別機能を理解する			
	第3回	内容	図書館サービスの社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを目を通す			
				復習	公共図書館の社会的意義を理解する			
	第4回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる			
				復習	日本の公共図書館の歴史について理解する			
	第5回	内容	図書館法および関連法規	予習	図書館法を予読する			
				復習	図書館法の内容を理解する			
	第6回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する			
				復習	図書館の知的自由とは何かを理解する			
	第7回	内容	前半のまとめ・グループワーク	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる			
				復習	図書館の知的自由についてレポートを書く			
	第8回	内容	国立図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる			
				復習	授業で扱った図書館のウェブサイトを目を通す			
第9回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる				
			復習	公共図書館の機能について理解する				
第10回	内容	学校図書館の制度と機能	予習	学校図書館のサービス対象を調べる				
			復習	出身校の図書館ウェブサイトを目を通す				
第11回	内容	大学図書館の制度と機能・専門図書館の制度と機能	予習	附属図書館のウェブサイトを確認し機能を知る				
			復習	専門図書館のウェブサイトを確認しサービス内容を確認する				
第12回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる				
			復習	司書の資格、業務について理解する				
第13回	内容	図書館と他機関との連携	予習	MLA連携とは何か調べる				
			復習	埼玉県図書館における連携・協力を理解する				
第14回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論と展望	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読む				
			復習	現代図書館界の課題と展望を理解する				
第15回	内容	後半のまとめ・グループワーク	予習	授業内で紹介したニュースを目を通す				
			復習	図書館の課題についてレポートを作成する				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	希望者に対し、課題へのコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(70%)、授業態度【グループワーク】(30%)							
教科書	『図書館情報学基礎資料 第4版』(今まど子、小山憲司・編著、樹村房) 加えて、授業資料を配布します							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』(高山正也、岸田和明・編著、樹村房) 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』(塩見昇・編著、日本図書館協会)							
足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	図書館サービス概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナバリンクコード	LIS3212	授業形態	講義	実務経験				
授業方式	対面・遠隔・その他()							
授業の内容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。							
到達目標	1. 図書館サービスの内容と意義について説明できる 2. 図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3. 近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(2、5) 文化表現学科(2、3、4)							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	本授業の内容と進め方を理解する			
	第2回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを開覧する			
				復習	図書館サービスの内容について理解する			
	第3回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート(授業内で紹介)を予読する			
				復習	図書館サービスの変遷について理解する			
	第4回	内容	図書館サービスを支える理念	予習	図書館員の倫理要綱を予読する			
				復習	図書館サービスに関するガイドラインを読む			
	第5回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる			
				復習	資料提供サービスの仕組みを理解する			
	第6回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる			
				復習	情報提供サービスの種類について理解する			
	第7回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる			
				復習	近隣の公共図書館の課題解決型サービスについてウェブサイトを開覧する			
	第8回	内容	地域に合わせた図書館サービス(グループワーク)	予習	コミュニティサービスとは何か調べる			
				復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く			
第9回	内容	障害者サービス、アウトリーチとエクステンション	予習	デジ資料とは何か調べる				
			復習	公共図書館におけるアウトリーチ事例を調べる				
第10回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる				
			復習	年代に合わせたサービスについて理解する				
第11回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する				
			復習	図書館における著作権ガイドラインを読む				
第12回	内容	利用者に合わせた図書館サービス(グループワーク)	予習	図書館における利用者接遇について自分なりの意見を考えてくる				
			復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く				
第13回	内容	図書館サービスの連携と協力、利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる				
			復習	図書館サービス連携の事例を読む				
第14回	内容	図書館サービスと危機管理	予習	図書館における被災のニュースを調べる				
			復習	図書館の資料修復方法を調べて読む				
第15回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る				
			復習	図書館サービスの展望について理解する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(60%)、授業態度【グループワーク】(40%)							
教科書	指定しません。授業資料を配布します。							
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ4 図書館サービス概論』(宮部頼子・編、樹村房) 『事例で学ぶ図書館1 事例で学ぶ図書館サービス概論』(吉井潤・著、青弓社)							
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。							

科目名	児童サービス論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3222	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリング、ビブリオバトルについては演習形式で理解を深めます。						
到達目標	1. 図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している 2. 児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3. 子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科(1、2、3、5) 文化表現学科(1、2、3、4)						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 児童にとっての読書の意味	予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
				復習	本授業の内容を理解する		
	第2回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営	予習	児童サービスの意義とは何か調べる		
				復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第3回	内容	児童向け資料の種類と提供	予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる		
				復習	子どもへの資料提供方法を理解する		
	第4回	内容	乳幼児サービス、YA サービス	予習	ブックスタートについて調べる		
				復習	年齢ごとのサービスの違いについて理解する		
	第5回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス	予習	ディスレクシアについて調べる		
				復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
	第6回	内容	おはなし会の意義と役割(グループワーク・討議)	予習	おはなし会で行われる取り組みについて調べる		
				復習	おはなし会の意義と役割を理解する		
	第7回	内容	読み聞かせの意義と準備	予習	読み聞かせの意義について調べる		
				復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第8回	内容	読み聞かせ演習(発表)	予習	読み聞かせの資料を選び、練習しておく		
				復習	自己評価をレポートにまとめる		
第9回	内容	読み聞かせ演習(発表)②	予習	読み聞かせの資料を選び、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第10回	内容	ブックトークの意義と準備	予習	ブックトークの意義について調べる			
			復習	ブックトークのシナリオを作成する			
第11回	内容	ブックトーク演習(発表)	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第12回	内容	ブックトーク演習(発表)②	予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第13回	内容	ストーリーテリングの意義と準備、ビブリオバトルの意義と準備	予習	ストーリーテリングの意義について調べる			
			復習	ストーリーテリングの準備について理解する			
第14回	内容	ストーリーテリング演習、ビブリオバトル演習(発表)	予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する			
			復習	自己評価をレポートにまとめる			
第15回	内容	児童サービスの課題と展望(グループワーク・討議)	予習	児童サービスの課題について調べる			
			復習	児童サービスの展望について理解する			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題および発表に対してコメントを返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (〇)しない 成績評価の方法： レポート・課題(50%)、作品・発表(50%)						
教科書	指定しません。授業資料を配布します						
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ6 児童サービス論』(植松貞夫・鈴木佳苗・編、樹村房) 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 児童サービス論 新訂版』(堀川照代、日本図書館協会)						
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。						

科目名	マンガ・イラスト表現	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナバリンコード*	MAC3211	授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になると思います。イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。						
到達目標	1. 絵を描くための基本を理解してキャラクターを描けるようになっている。 2. キャラクターの感情表現が出来るようになっている。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1)						
授業計画	第1回	内容	【○と□を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予習	シラバスを確認する。		
				復習	円と四角を描いてみる。		
	第2回	内容	【いろんな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予習	シラバスを確認しておく。		
				復習	いろんな表情を描いてみる。		
	第3回	内容	【感情の表現を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	感情の表現をあらためて描いてみる。		
	第4回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	喜怒哀楽の表情をあらためて描いてみる。		
	第5回	内容	【色んな顔の向きを描こう】色んな角度の顔を描けるようにする。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	色んな顔の向きのバリエーションを描いてみる。		
	第6回	内容	【自画像を描こう】対象をしっかりと描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	自画像の課題のバリエーションを描いてみる。		
	第7回	内容	【顔と表情を決める】顔を構築する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。		
				復習	顔と表情を決める課題のバリエーションを描いてみる。		
	第8回	内容	【透視図法の基礎を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。		
				復習	透視図法の基礎のバリエーションを描いてみる。		
第9回	内容	【一点透視図法から二点透視図法】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
			復習	パースの課題のバリエーションを描いてみる。			
第10回	内容	【透視図法のまとめ】透視図法を再確認。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
			復習	透視図法のバリエーションを描いてみる。			
第11回	内容	【人物と背景】人物と背景のイラストを完成させる。	予習	背景のイメージを固めておこう。			
			復習	人物と背景のバリエーションを描いてみる。			
第12回	内容	【全身で感情表現してみよう】感情と動きを全身で描く。	予習	全身の動きを描いてみる。			
			復習	全身で感情表現の課題のバリエーションを描いてみる。			
第13回	内容	【シワの描き方を学ぼう】シワの描き方を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
			復習	シワの描き方の課題のバリエーションを描いてみる。			
第14回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
			復習	私の部屋を描いてみる。			
第15回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を完成させる。			
			復習	私の部屋の課題のバリエーションを描いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(0%)、レポート・課題(30%)、作品・発表(20%)、実技(30%)、授業態度【集中力・居眠り】(20%)						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項							

科目名	アニメーション表現		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナバリングコード	MAC3212		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	アニメーションの基本的な理解。 製作工程、決まりごとを学びます。 動きの基本を単純で簡単なところから学んでいきます。							
到達目標	1. アニメーション制作の工程を理解できている 2. アニメーションの基本的な動きを実際に描いてみて知識と描写力を身につけている。 3. アニメーションの表現方法の幅の広さを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1 ）							
授業計画	第1回	内容	動かしてみよう「振り子の動き」。	予習	アニメーション制作講義の再確認。			
				復習	「振り子の動き」講義の再確認。			
	第2回	内容	動かしてみよう「ボールの跳ねる動き」。	予習	「振り子の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの跳ねる動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第3回	内容	動かしてみよう「ボールの移動の動き」	予習	「ボールの移動の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの移動の動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第4回	内容	動かしてみよう「重力と慣性」	予習	「重力と慣性」課題の確認をしておく。			
				復習	「重力と慣性」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第5回	内容	動かしてみよう「ヨセとノコシ」	予習	前回の課題の確認をしておく。			
				復習	「ヨセとノコシ」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第6回	内容	動かしてみよう「手を振る」	予習	「ヨセとノコシ」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る」課題の確認と修正。			
	第7回	内容	動かしてみよう「手を振る2」	予習	「手を振る」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る2」課題の確認と修正。			
	第8回	内容	動かしてみよう「お辞儀」	予習	「手を振る2」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
	第9回	内容	動かしてみよう「お辞儀2」	予習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀2」課題の確認と修正。			
	第10回	内容	動かしてみよう「立ち上がる」	予習	「お辞儀2」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
	第11回	内容	動かしてみよう「立ち上がる2」	予習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる2」確認と修正。			
	第12回	内容	動かしてみよう「振り返る」	予習	「立ち上がる2」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る」課題の確認と修正。			
	第13回	内容	動かしてみよう「振り返る2」	予習	「振り返る」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る2」課題の確認と修正。			
	第14回	内容	運動の法則。課題「急発進、急停止」	予習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
				復習	慣性の法則の動きを確認しておく。			
	第15回	内容	慣性の法則。課題「タメと変化と停止」	予習	「タメと変化と停止」の確認とスケッチ。			
				復習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【集中力・居眠り】（20%）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項								

科目名	ノンフィクション入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	MAC3222	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	ノンフィクション作品とは、フィクションではない、即ち、創作が混じらない読み物のことです。目の前にあるリアルな素材をどのように料理して、優れた一品にしていくのかを目指します。卒業生たちは人物、コロナ禍の観光、保育士不足など、身近にある問題を題材に作品に仕上げてきました。取材、執筆を通して、自らの思考力、判断力、表現力を向上させることを目指します。						
到達目標	1. 作品を読み、そこに書かれたテーマを読み取り、読解力を深めている。 2. 執筆で文章表現力を高め、話を聞くことでコミュニケーション能力を高めている。 3. 1人、あるいは数人のグループで作品を仕上げることで、やり抜く力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、ノンフィクションとは何か。	予習	シラバスを読んでおく。	復習	授業内容をもう一度理解する。
	第2回	内容	短編のノンフィクション作品を読む。	予習	自分の好きな作品を選ぶ。	復習	テーマへの考察
	第3回	内容	作品のテーマを考える。	予習	新聞を読んで今何が起きているのかを考える。	復習	テーマを何にするか考える。
	第4回	内容	取材、執筆とは何か。一般的な注意は。	予習	好きな作品を選ぶ。	復習	上記の作品の取材執筆に想いを馳せる。
	第5回	内容	企画編集会議。何を取り上げるか。	予習	取り上げたいテーマを考えてくる。	復習	テーマを深掘りする。
	第6回	内容	これからの取材・執筆の計画を立てる。	予習	これまでの授業をもう一度理解しておく。	復習	計画を完成させる。
	第7回	内容	取材ノートの作成。	予習	これまでの授業の流れを見ておく。	復習	取材ノートを考える。完成。
	第8回	内容	リサーチ、取材の準備。	予習	取材をどうするかを考察。	復習	リサーチ。
	第9回	内容	取材①	予習	取材をどうするか。	復習	取材後のまとめ。
	第10回	内容	取材②	予習	取材に対する考察。	復習	取材後のまとめ。
	第11回	内容	取材③	予習	取材に対する考察。	復習	取材後のまとめ。
	第12回	内容	文字起こし。執筆。	予習	文字起こしをする。	復習	文字起こしを継続。
	第13回	内容	追加取材、見直し。執筆。	予習	取材内容を見直す。	復習	内容を再考察。
	第14回	内容	執筆。	予習	執筆。	復習	執筆。
	第15回	内容	作品発表会。	予習	最終的な確認。	復習	授業全体を振り返る。
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題を完成させるまで粘り強く指導する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 80 %）、授業態度【 積極的参加、出席 】（ 20 %）						
教科書	適宜プリント配布						
参考文献	『調べる技術書く技術』（野村進著、講談社現代新書）						
補足事項	取材な度で人と接するために、正しい敬語や適切なマナーを身につける。						

科目名	コミュニケーションと心理	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	GEE3212	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	本講義では、心理学の理論や技法を用いて、個々の人間関係や社会の現場(職場)で生きる実践的なコミュニケーション能力の基礎の育成を図ることを目的とする。傾聴やアサーション等の知見を学び、ワークを通して受講生の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。						
到達目標	1. 人の話をしっかりと傾聴できる。 2. コミュニケーションに必要な心理学の基礎を理解している。 3. 将来の社会人に必要なコミュニケーション能力の土台を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(1,2,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。		
				復習	授業の概要を理解する。		
	第2回	内容	コミュニケーション能力	予習	コミュニケーションについて調べる。		
				復習	について理解し整理する。		
	第3回	内容	さまざまな心の関係	予習	心の関係について自分なりに考える。		
				復習	心の関係について理解し整理する。		
	第4回	内容	心理的ストレスの低減方法	予習	ストレス低減について考えておく。		
				復習	ストレスの低減方法について理解し整理する。		
	第5回	内容	グループワーク①(聴き方)	予習	積極的にワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワーク学んだことを整理する。		
	第6回	内容	グループワーク②(聴き方)	予習	反省点を踏まえて積極的にワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワーク学んだことを整理する。		
	第7回	内容	傾聴の意義と効用	予習	傾聴についてしらべる。		
				復習	学んだことについて理解し整理する。		
	第8回	内容	非言語コミュニケーション	予習	非言語について調べる。		
				復習	学んだことについて理解し整理する。		
第9回	内容	応答技法	予習	応答技法について調べる。			
			復習	学んだことについて理解し整理する。			
第10回	内容	受容と共感	予習	受容と共感の意味を調べる。			
			復習	学んだことについて理解し整理する。			
第11回	内容	事例(ケース)研究①	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理する。			
第12回	内容	事例(ケース)研究②	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理する。			
第13回	内容	グループワーク③(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワーク学んだことを整理する。			
第14回	内容	グループワーク④(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワーク学んだことを整理する。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	受講生に対して、ワーク参加状況、発表・発言内容、試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する 成績評価の方法：筆記試験(40%)、レポート・課題(60%)						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。						
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	カウンセリング入門	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	PSY3232	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	将来、社会生活において、他者から多岐にわたる内容の相談をされ、それらに対してできる限りの確に応答しなければならない機会が想定される。本講義では、カウンセリング、相談の基礎的知識の習得と現場で生きる相談の実践的能力の基本の育成を図る。さらに、相談を受ける私たちの心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。						
到達目標	1. カウンセリングの意義、方法等に関する基本知識と方法を習得している。 2. カウンセリングの基本を理解し、それを社会生活の相談場面での実践に活かすことを考えられる。 3. 人の心の問題を理解することを試み、他者の心に寄り添う相談実践をおこなえる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2,4)						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。		
				復習	授業の概要を理解する。		
	第2回	内容	カウンセリングとは何か	予習	カウンセリングについて調べる。		
				復習	カウンセリングについて理解し整理する。		
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係について調べる。		
				復習	心と心の関係について理解し整理する。		
	第4回	内容	ワーク①(カウンセリングの態度と方法)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。		
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。		
	第5回	内容	「傾聴」等の理解と活用	予習	傾聴について調べる。		
				復習	傾聴について理解し整理する。		
	第6回	内容	事例研究①(逸脱行動：相談者への理解)	予習	事例の展開について予測する。		
				復習	学んだことを整理し理解する。		
	第7回	内容	カウンセリングの理論	予習	カウンセリングの理論について調べる。		
				復習	学んだカウンセリングの理論について理解し整理する。		
	第8回	内容	カウンセリングの方法①(面接の構造)	予習	カウンセリングの方法について調べる。		
				復習	面接の構造について理解し整理する。		
第9回	内容	カウンセリングの方法②(アセスメント)	予習	アセスメントについて調べる。			
			復習	アセスメントについて理解し整理する。			
第10回	内容	カウンセリングの方法③(対応方法)	予習	カウンセリングにおける対応方法について調べる。			
			復習	対応方法について理解し整理する。			
第11回	内容	事例研究②(心の発達：他者との連携)	予習	事例の展開について予測する。			
			復習	学んだことを整理し理解する。			
第12回	内容	応答技法	予習	カウンセリングにおける応答技法について調べる。			
			復習	応答技法について理解し整理する。			
第13回	内容	ワーク②	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
			復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
第14回	内容	相談を受ける人の心の健康	予習	相談を受ける人の心の健康について調べる。			
			復習	学んだ人の心の健康について理解し整理する。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
			復習	学んだことを今後活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する 成績評価の方法：筆記試験(40%)、レポート・課題(60%)						
教科書	特に指定しない						
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。						
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講生には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						